

令和6年度 徳島県地域年金事業運営調整会議資料

資料1：令和5年度 徳島県 地域年金展開事業 実施状況（結果報告）

（資料1－1 地域連携事業）

（資料1－2 年金セミナー事業）

（資料1－3 地域相談事業）

（資料1－4 年金委員活動支援事業）

日本年金機構
徳島北年金事務所
（徳島県代表年金事務所）

令和5年度 徳島県 地域年金展開事業実施状況（結果報告）

資料1-1（地域連携事業）

事業名		月別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月 <small>(ねんきん月間)</small>	12月	1月	2月	3月	合計	
企業や関係団体等における年金制度説明会の実施	市町村説明会	徳島北		1回 1名			1回 9名				1回 7名					3回 17名	
		徳島南					1回 9名	1回 1名			1回 7名		1回 7名			3回 17名	
		阿波半田				1回 11名	1回 1名				1回 2名			1回 5名		4回 19名	
	新適説明会	徳島北	1名	2名	8名	13名	22名					15名	4名	26名			91名
		徳島南															0名
		阿波半田				10名											10名
	制度算定基礎説明会	徳島北			算定 2回 162名												2回 162名
		徳島南			算定 3回 157名									制度 1回 20名			3回 157名
		阿波半田			算定 2回 94名						制度 1回 22名						3回 116名
ハローワーク窓口での年金制度の周知啓発	徳島北	DVD配付、上映依頼														—	
	徳島南	DVD配付、上映依頼														—	
	阿波半田	DVD配付、上映依頼														—	
市町村広報誌での年金制度の周知啓発（掲載回数）	徳島北	4市1町 5回	3市2町 5回	4市2町 6回	4市5町 9回	3市1町 4回	4市1町 5回	3市3町 6回	3市5町 8回	3市4町 7回	3市7町 10回	4市2町 6回	2市2町 4回			75回	
	徳島南	2市5町 7回	2市5町1村 8回	1市5町 6回	2市5町1村 8回	2市4町 6回	2市5町 7回	1市4町 5回	2市5町1村 8回	1市5町 6回	2市5町1村 8回	1市5町 6回	2市5町 7回			82回	
	阿波半田	2市2町 4回	2市2町 4回	2市2町 4回	2市2町 4回	2市2町 4回	2市2町 4回	2市2町 4回	2市2町 4回	2市2町 4回	2市2町 4回	2市2町 4回	2市2町 4回	2市2町 4回			48回
20歳到達者年金制度説明会	徳島北	前年度効果が少なかったため中止														—	
	徳島南	前年度効果が少なかったため中止														—	
	阿波半田	1回 1名	1回 9名	1回 5名	1回 3名	1回 7名	1回 7名	1回 3名	1回 5名	1回 4名	1回 3名	1回 4名	1回 7名			12回 58名	
市町村担当職員向け情報誌『かけはし』の発行	徳島北		○		○		○		○		○		○		○	6回	
	徳島南		○		○		○		○		○		○		○	6回	
	阿波半田		○		○		○		○		○		○		○	6回	

■ 令和5年度 徳島県 地域年金展開事業実施状況（結果報告）

資料1-2（年金セミナー事業）

事業名		月別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月 (ねんきん月間)	12月	1月	2月	3月	合計
		対面又は オンライン	地域													
年金セミナーの実施	対面又は オンライン	徳島北									対面 2回 99名	対面 1回 43名	対面 1回 91名	対面 3回 290名		7回 523名
		徳島南								対面 1回 33名		対面 2回 231名	対面 2回 246名	対面 1回 136名		6回 646名
		阿波半田				対面 1回 18名					対面 1回 27名	対面 1回 20名	対面 1回 45名			4回 110名
	DVD動画 視聴	徳島北											1回 95名			1回 95名
		徳島南														0回 0名
		阿波半田											1回 146名	2回 158名		3回 304名
エッセイ募集に関する 協力依頼	徳島北		マスコミへの プレスリリース	大学、専門学校、 高等学校等 109か所												マスコミ： 1回 学校等： 109か所
	徳島南															
	阿波半田															

■ 令和5年度 徳島県 地域年金展開事業実施状況（結果報告）

資料1-3（地域相談事業）

事業名		月別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月 (ねんきん月間)	12月	1月	2月	3月	合計
		地域	地域													
ハローワークの雇用 保険受給者説明会での 年金制度説明会の 実施 (会場数・参加人数)	徳島北	R5.4～ ハローワーク雇用保険受給者説明会 規模縮小のため中止														—
	徳島南	R5.4～ ハローワーク雇用保険受給者説明会 規模縮小のため中止														—
	阿波半田	R5.4～ ハローワーク雇用保険受給者説明会 規模縮小のため中止														—
出張年金相談の実施	徳島北 (社労士)	鳴門市2回	10名	9名	11名	11名	8名	7名	10名	11名	9名	7名	9名	10名		272名
		阿波市2回	11名	8名	8名	11名	8名	10名	9名	7名	9名	8名	10名	9名		
		吉野川市	3名	5名	4名	4名	5名	5名	7名	4名	4名	4名	3名	4名		
	徳島南	牟岐町	4名		6名		6名		7名		7名		7名		8名	87名
		阿南市		7名		8名		8名		8名		9名		9名		
	阿波半田	美馬市										3名				16名
三好市											6名					
		粟みよし町2回									7名					

■ 令和5年度 徳島県 地域年金展開事業実施状況（結果報告）

資料1-4（年金委員活動支援事業）

事業名		月別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月 (ねんきん月間)	12月	1月	2月	3月	合計		
年金委員研修の実施 (参加人数)	研修	徳島北		2回 27名			1回 11名				合計は徳島北 1回 81名				合計は徳島北 1回 82名		5回 201名	
		徳島南						1回 20名										1回 20名
		阿波半田				1回 10名										2回 47名		3回 57名
	年金委員表彰 (被表彰者数)	表彰	徳島北									3名						3名
			徳島南									2名						2名
			阿波半田									2名						2名
職域型年金委員 (ハナミズキ通信等) 地域型年金委員 (みつばち通信等) へ情報誌等の提供	職域型	徳島北	○ハナミズキ通信				○ハナミズキ通信			○ハナミズキ通信			○ハナミズキ通信				4回	
		徳島南	○ハナミズキ通信				○ハナミズキ通信			○ハナミズキ通信			○ハナミズキ通信					4回
		阿波半田	○ハナミズキ通信				○ハナミズキ通信			○ハナミズキ通信			○ハナミズキ通信					4回
	地域型	徳島北	○みつばち通信	○みつばち通信	○みつばち通信	○みつばち通信	○みつばち通信	○みつばち通信	○みつばち通信	○みつばち通信	○みつばち通信	○みつばち通信	○みつばち通信	○みつばち通信	○みつばち通信	○みつばち通信	○みつばち通信	12回
		徳島南	○みつばち通信	○みつばち通信	○みつばち通信	○みつばち通信	○みつばち通信	○みつばち通信	○みつばち通信	○みつばち通信	○みつばち通信	○みつばち通信	○みつばち通信	○みつばち通信	○みつばち通信	○みつばち通信	○みつばち通信	12回
		阿波半田	○みつばち通信	○みつばち通信	○みつばち通信	○みつばち通信	○みつばち通信	○みつばち通信	○みつばち通信	○みつばち通信	○みつばち通信	○みつばち通信	○みつばち通信	○みつばち通信	○みつばち通信	○みつばち通信	○みつばち通信	12回
四国ブロック社会保 険委員会連合会連絡 協議会 (令和5年度：愛媛県)	徳島北										1名						1名	
	徳島南										1名						1名	
	阿波半田										1名						1名	
地域型年金委員連絡 会(県)及び地区連 絡会	県連絡会	徳島北			4名									4名			8名	
	地区 連絡会	徳島北					11名							11名			22名	
		徳島南			1名												1名	
		阿波半田					4名						3名				7名	

令和6年度 徳島県地域年金事業運営調整会議資料

資料2：令和5年度 徳島県 年金セミナー実施状況（結果報告）

資料3：令和5年度 徳島県 年金セミナー実施結果（過去との比較）

資料4：令和5年度 徳島県 年金セミナーアンケート集計結果（結果報告）

日本年金機構
徳島北年金事務所
（徳島県代表年金事務所）

令和5年度 徳島県 年金セミナー実施状況（結果報告）

資料2（徳島県）

回数	開催日時			学校名	対象者		講師	補助者			
	日	曜日	対面（分間） 時間		対象者	人数					
1	R5.7.27	木	対面（50分間） 14:00～14:50	三好市医師会准看護学院	1～2年生	18名	職員	職員			
2	R5.10.12	木	対面（90分間） 10:40～12:10	徳島県立富岡東高等学校羽ノ浦校	専攻科1年	33名	職員	職員			
3	R5.11.1	水	対面（50分間） 13:30～14:20	徳島県立吉野川高等学校	3年生	84名	職員	職員			
4	R5.11.22	水	対面（50分間） 11:00～11:50	徳島県立城西高等学校神山校	3年生	27名	職員	職員			
5	R5.11.29	水	対面（30分間）	市町村職員研修	市町村職員	15名	職員	職員			
6	R5.12.8	金	対面（90分間） 14:35～16:05	国立大学法人徳島大学	1回生 (総合科学部)	70名	職員	職員			
7	R5.12.11	月	対面（40分間） 11:30～12:10	徳島県立鳴門渦潮高等学校	3年生	161名	職員	職員			
8	R5.12.12	火	対面（50分間） 10:50～11:40	徳島県立池田高等学校三好校	3年生	20名	職員	職員			
9	R5.12.21	木	対面（90分間） 14:40～16:10	学校法人村崎学園徳島文理大学	3回生	43名	職員	職員			
10	R6.1.15	月	対面（50分間） 8:30～9:20	徳島県立城南高等学校	3年生	25名	職員	職員			
11	R6.1.25	木	対面（45分間） 9:00～9:45	徳島県立板野高等学校	3年生	91名	職員	職員			
12	R6.1.31	水	対面（50分間） 8:40～9:30	徳島市立高等学校	3年生	221名	職員	職員			
13	R6.1.31	水	対面（50分間） 9:45～10:35	徳島県立池田高等学校辻校	3年次	45名	職員	職員			
14	R6.2.13	火	対面（50分） 10:00～10:50	徳島県立徳島科学技術高等学校	3年生	230名	職員	職員			
15	R6.2.14	水	対面（50分） 9:00～9:50	徳島県立阿南光高等学校	3年生	136名	職員	職員			
16	R6.2.15	木	対面（50分） 11:00～11:50	徳島県消防学校	訓練生	25名	職員	職員			
17	R6.2.16	金	対面（50分） 10:40～11:10	徳島県立徳島中央高等学校	3年生	35名	職員	職員			
18	中止	—	中止	学校法人生光学園高等学校	3年生	—	—	—			
対面による年金セミナー実施校数						：	2 大学校	1 専門学校	12 高等学校	2 関係団体・施設	1,279名

令和5年度 徳島県 年金セミナー実施状況（結果報告）

資料2（徳島県）

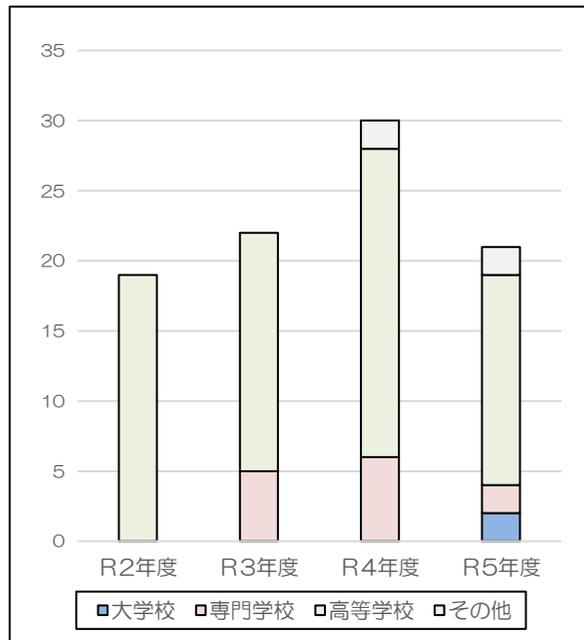
回数	開催日時			学校名	対象者		講師	補助者
	期	日	形式		学年	人数		
1	R5.8~R6.1	—	DVD使用	社会福祉法人健祥会専門学校健祥会学園	1年次	95名		
2	R6.1.30	火	DVD使用	徳島県立脇町高等学校	3年生	146名		
3	R6.2.7	水	DVD使用	徳島県立穴吹高等学校	3年生	28名		
4	R6.2.16	金	DVD使用	徳島県立つるぎ高等学校	3年生	130名		
DVD動画視聴による年金セミナー実施校数						399名		
： 1 専門学校 3 高等学校								
全年金セミナー実施数合計						1,678名		
： 2 大学 2 専門学校 15 高等学校 2 関係団体・施設								

■ 令和5年度 徳島県年金セミナー実施結果（過去との比較）

資料3（徳島県）

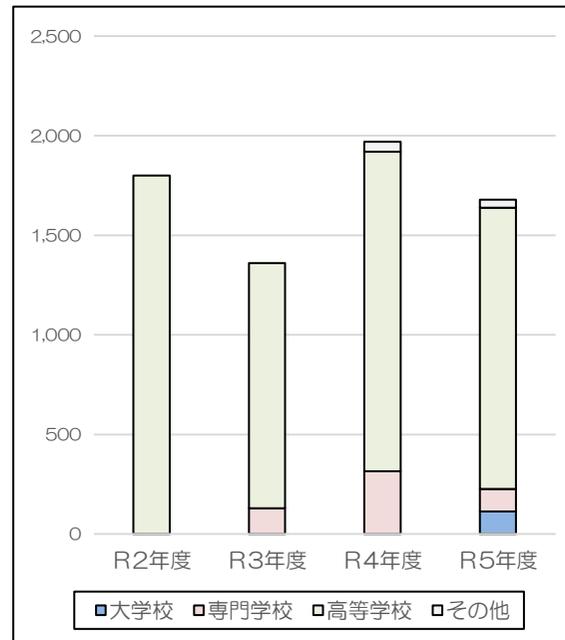
実施回数

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
大学校	0	0	0	2
専門学校	0	5	6	2
高等学校	19	17	22	15
その他	0	0	2	2
計	19	22	30	21



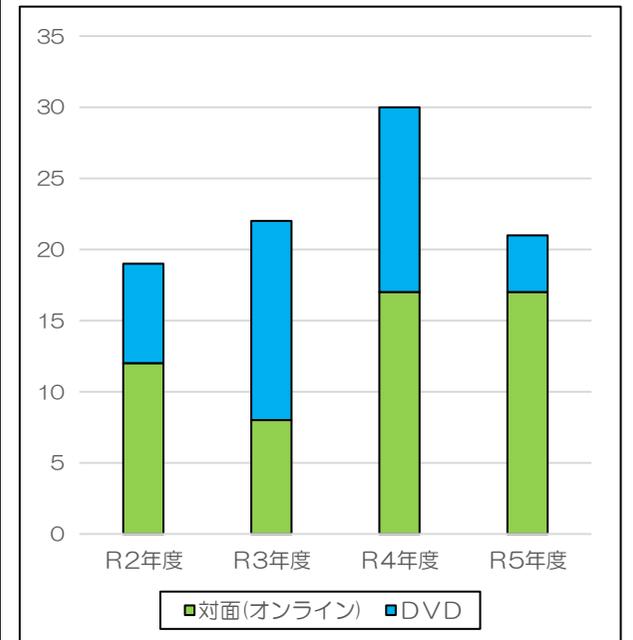
受講者数

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
大学校	0	0	0	113
専門学校	0	130	315	113
高等学校	1,800	1,230	1,605	1,412
その他	0	0	49	40
計	1,800	1,360	1,969	1,678



対面（オンライン）、DVD回数

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
対面（オンライン）	12	8	17	17
DVD	7	14	13	4
計	19	22	30	21



年金セミナー アンケート集計結果



徳島北年金事務所
徳島南年金事務所
阿波半田年金事務所

◆開催の詳細（令和5年7月27日～令和6年2月16日実施）

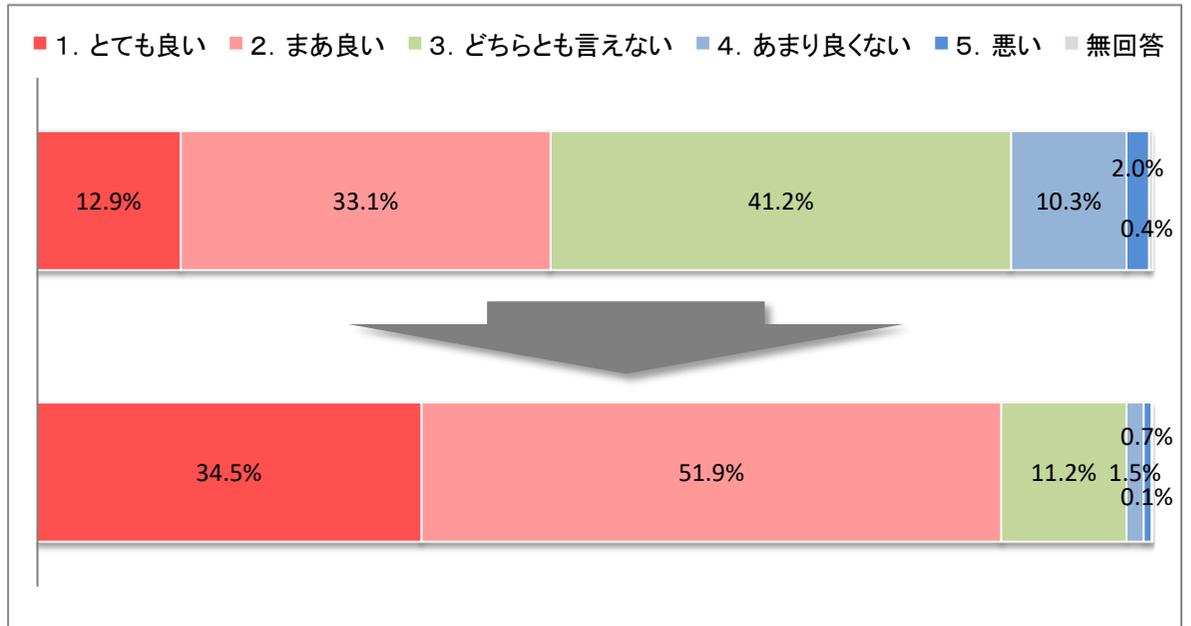
学校区分	開催状況	受講者数
大学校	2校 2回	113名
専門学校	2校 2回	113名
高等学校	15校 15回	1,412名
その他	2団体・機関 2回	40名
合計	2大学校 2専門学校 15高等学校 2団体・機関 計 21回	1,678名

1. 年金のイメージ（市町村職員除く）

○セミナー前

選択肢	回答
1. とても良い	217件
2. まあ良い	556件
3. どちらとも言えない	692件
4. あまり良くない	173件
5. 悪い	34件
無回答	6件

セミナー前



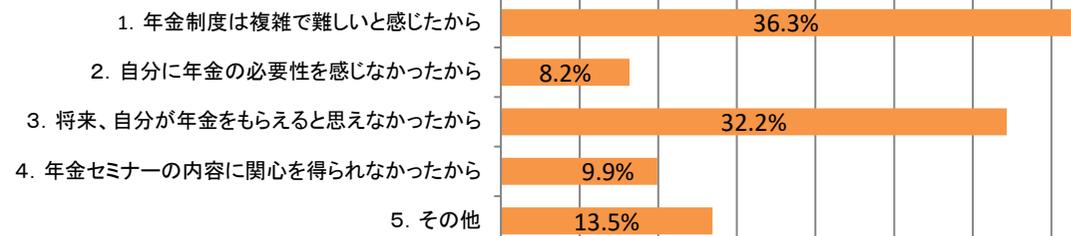
○セミナー後

選択肢	回答
1. とても良い	579件
2. まあ良い	871件
3. どちらとも言えない	188件
4. あまり良くない	26件
5. 悪い	12件
無回答	2件

セミナー後

※セミナー後も「3. どちらとも言えない」「4. あまり良くない」「5. 悪い」を選択された方

選択肢	回答
1. 年金制度は複雑で難しいと感じたから	62件
2. 自分に年金の必要性を感じなかったから	14件
3. 将来、自分が年金をもらえると思えなかったから	55件
4. 年金セミナーの内容に関心を得られなかったから	17件
5. その他	23件

『まあ良い』以上の評価は、セミナー前の **46.1%** から、セミナー後は **86.4%** になりました。

2. 講義について

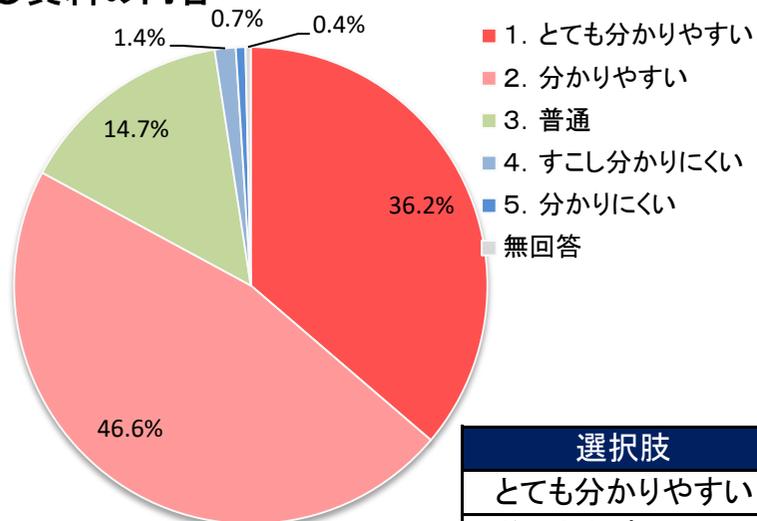
資料4 (アンケート集計結果)

○説明時間の長さ

選択肢	回答
長い	327件
ちょうど良い	1,318件
短い	23件
無回答	10件

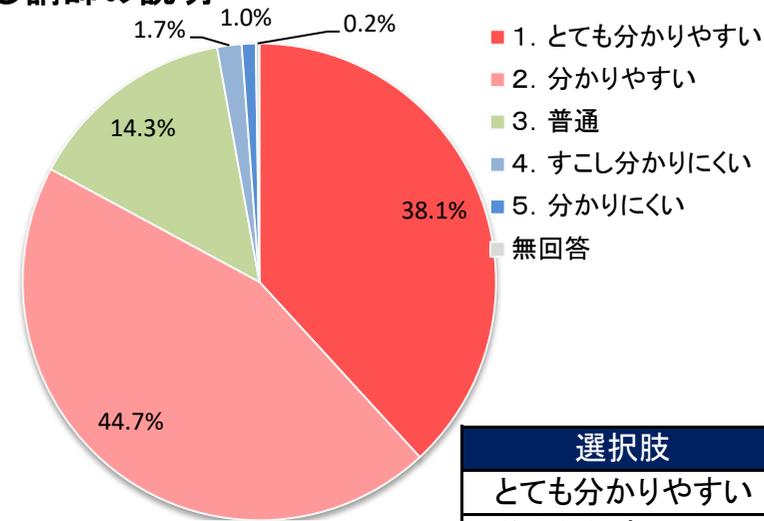


○資料の内容



選択肢	回答
とても分かりやすい	608件
分かりやすい	782件
普通	247件
すこし分かりにくい	24件
分かりにくい	11件
無回答	6件

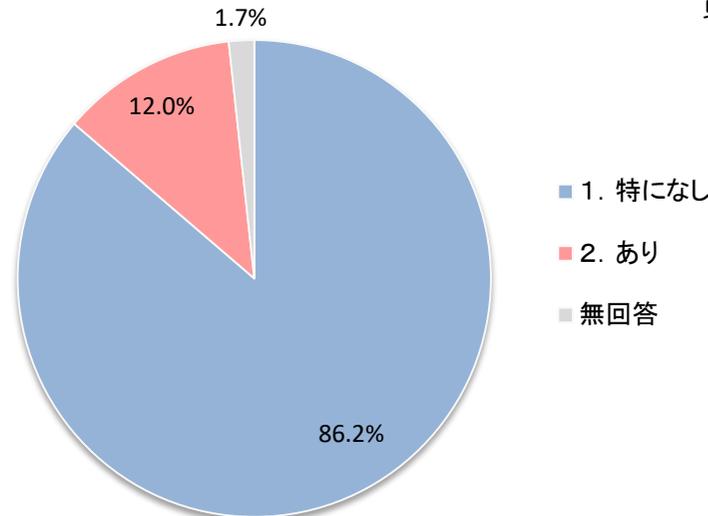
○講師の説明



選択肢	回答
とても分かりやすい	640件
分かりやすい	750件
普通	240件
すこし分かりにくい	28件
分かりにくい	16件
無回答	4件

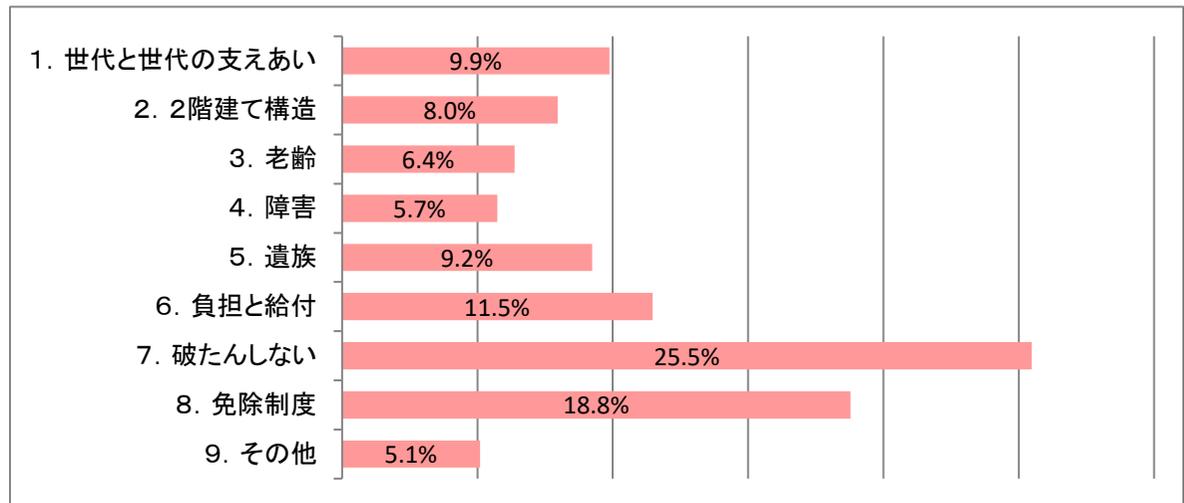
○詳しく説明してほしい内容の有無

選択肢	回答
特になし	1,447件
あり	202件
無回答	29件



「あり」の場合(複数回答)

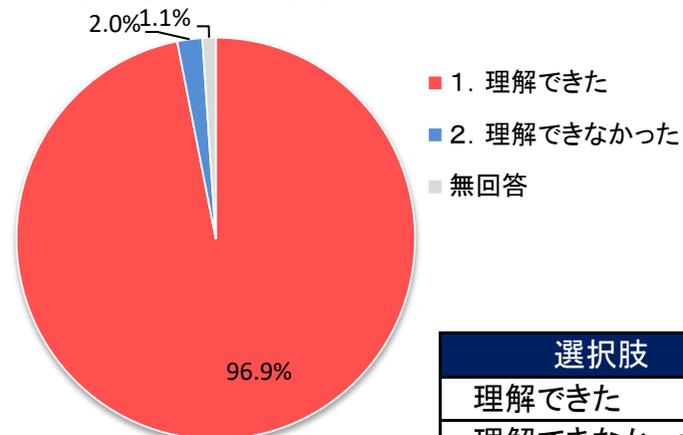
選択肢	回答
世代と世代の支えあい	31件
2階建て構造	25件
老齢年金	20件
障害年金	18件
遺族年金	29件
保険料負担と給付	36件
公的年金は破綻しない	80件
保険料の免除制度	59件
その他	16件
無回答	0件



3. 年金制度の理解度

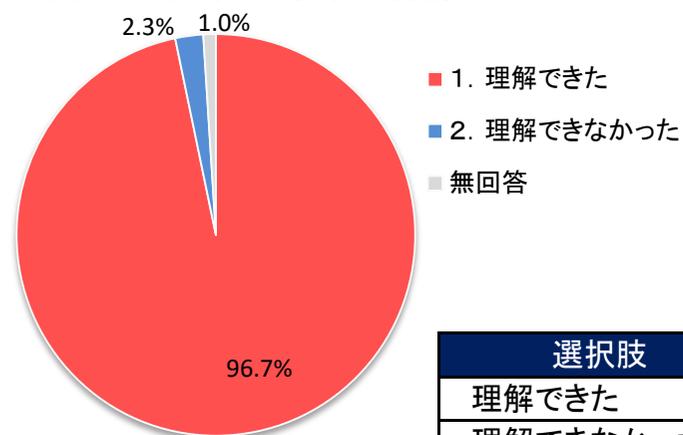
資料4（アンケート集計結果）

○20歳になったら国民年金に加入



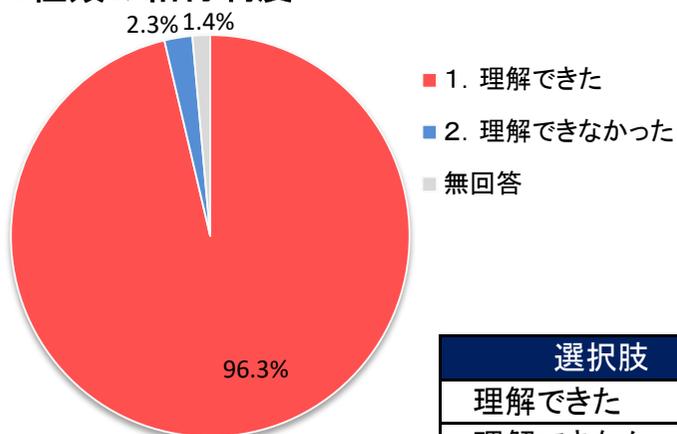
選択肢	回答
理解できた	1,626件
理解できなかった	34件
無回答	18件

○保険料の納付は国民の義務



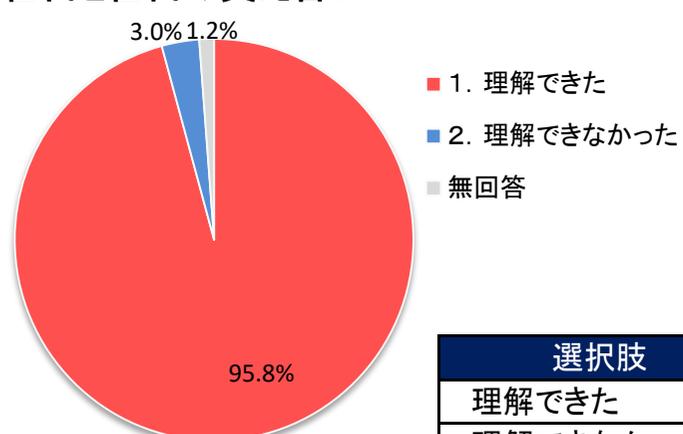
選択肢	回答
理解できた	1,623件
理解できなかった	38件
無回答	17件

○3種類の給付制度



選択肢	回答
理解できた	1,616件
理解できなかった	38件
無回答	24件

○世代と世代の支え合い



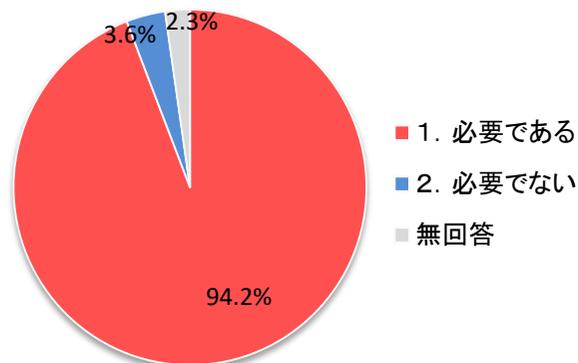
選択肢	回答
理解できた	1,607件
理解できなかった	51件
無回答	20件

4. 年金制度の必要性

資料4 (アンケート集計結果)

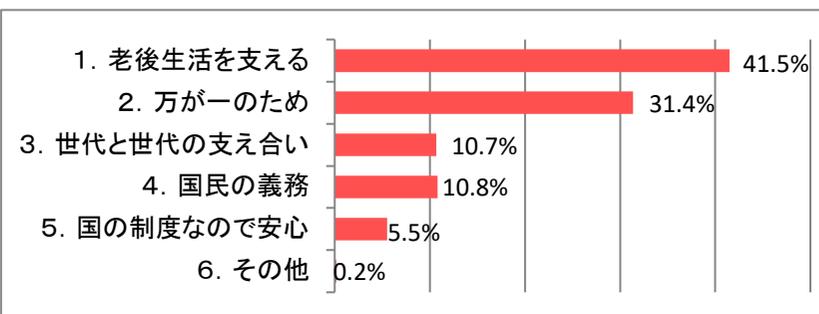
○年金制度は必要か

選択肢	回答
必要である	1,580件
必要でない	60件
無回答	38件



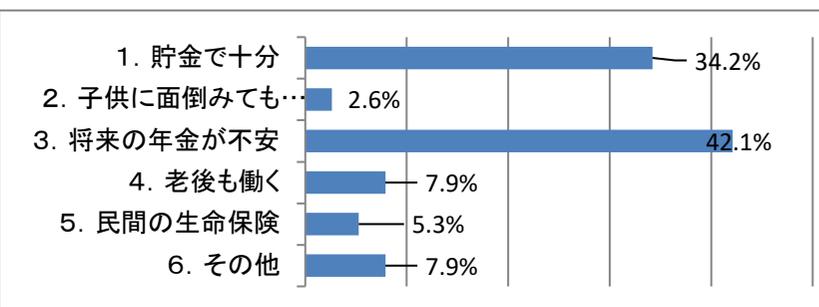
「必要」の場合(複数回答)

選択肢	回答
老後生活を支える	1,287件
万が一のため	973件
世代と世代の支え合い	331件
国民の義務	335件
国の制度なので安心	171件
その他	5件



「必要でない」の場合(複数回答)

選択肢	回答
貯金で十分	26件
子供に面倒みてもらう	2件
将来の年金が不安	32件
老後も働く	6件
民間の生命保険	4件
その他	6件



令和6年度 徳島県地域年金事業運営調整会議資料

資料5：委員から寄せられたご意見等に対する対応状況

日本年金機構
徳島北年金事務所
(徳島県代表年金事務所)

■ 委員から寄せられたご意見等に対する対応状況

資料5（徳島県）

番号	委員名	ご意見、ご質問等の内容	進捗状況	対応方針又は考え方
	開催年月日			
1	山本委員 平成25年3月13日 開催の調整会議	後納制度による納付により、年金を受給できることとなった人数を教えてください	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 報告済（平成26年6月13日）	徳島県内の推定数字は作業により提供可能と考えるが、求められているのは全体の数字であり、機構として提供できるのか否かを確認したうえで対応したい。 後納制度を利用したことにより受給期間を満たした方は全国で、15,066人。
2	黒田委員 平成25年3月13日 開催の調整会議	厚生年金の適用・未適用の事業所データを提供できないか	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 報告済（平成25年6月21日）	日本年金機構個人情報保護管理金取扱要領、個人情報提供ガイドライン（事業所情報等の年金個人情報ではないが、個人情報保護管理規程において準用する）により、提供先と提供データ、根拠法令及び使用目的が定められているため、ご理解をお願いします。 【内部規定はお示しできないので口頭でご理解を得たい】
3	黒田委員 平成25年3月13日 開催の調整会議	厚生年金への加入については義務と考えるので、真面目な会社のみ損をしないよう、法による根拠を示してほしい	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 報告済（平成25年6月21日）	厚生年金保険法第6条（健康保険法は第3条）に該当する事業所は適用事業所とするとされています。 【社会保険六法を持参してお示ししたい】
4	野口委員 平成25年6月21日 開催の調整会議	ハローワークでの説明会で口座振替、クレジットカードの取扱いについて	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 報告済（平成25年6月21日）	「国民年金の保険料口座振替納付申出書兼依頼書」があり、必要事項をご記入のうえ、口座届出印を押印し、金融機関の確認印をいただいた後、提出していただくようになる。その場でご記入、押印いただいたら、金融機関へはこちらのほうから送付し、ご返送いただく取り扱いとしている。クレジットカードでのお支払いについては既に実施している。カード名義人は本人以外の家族のカードでも同意をいただければご利用いただける。クレジットカードの有効性の確認をさせていただいている。クレジット会社が一旦、立替払いをするので、カード残額がなくても納期に納付となるメリットはあると考える。
5	南委員 平成25年6月21日 開催の調整会議	県下で地域型年金委員と職域型年金委員はそれぞれどのくらいの数があるのか。 職域型の年金委員は沢山いるが、地域型の年金委員については、少ないので増やしていかないといけない。	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 報告済（平成25年6月21日）	地域型年金委員の方は、25年1月に更新の手続きがあり、現在、県下で18名です。地域型の年金委員は徳島北事務所管内584名、徳島南事務所管内458名阿波半田事務所管内190名徳島県として1,232名となっている。 年金委員の重要性を認識 職域型年金委員辞退時に人事異動等の場合は後任の方の推薦依頼、退職の場合は職域型から地域型への移行を勧奨する。
6	南委員 平成25年6月21日 開催の調整会議	年金出前授業の推進について	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 報告済（平成26年3月12日）	平成25年11月20日、年金セミナー実施。 60分、対象者：2年生 53名 平成25年度第2回資料「年金セミナーアンケート結果」のとおり

※本書は回答を終えた案件も削除することなく追記を行います。

■ 委員から寄せられたご意見等に対する対応状況

資料5（徳島県）

番号	委員名	ご意見、ご質問等の内容	進捗状況	対応方針又は考え方
	開催年月日			
7	前田委員	高等学校での出前授業をぜひやっていただきたいと思っている。具体的な話があれば、ご相談いただいたら、協力させていただきたい	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 報告済（平成25年6月21日）	今後とも、引き続きご協力をお願いしたい。平成26年度より教職員OB等を「地域年金推進員」として委嘱し、特に高校・中学を対象に個別学校訪問形式で年金セミナーなどの活動を行う予定。
	平成25年6月21日開催の調整会議			
8	南委員	エッセイの受賞者への記念品は	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 報告済（平成25年6月21日）	昨年も図書券だったが、応募の状況を見ていると、昨年、約450名の方に応募いただいたが、その中の85%の方が高校生だった。そういったこともふまえ図書券の予定です。
	平成25年6月21日開催の調整会議			
9	中村委員	地域年金展開事業について、色々な取組、広報を行う場合に、どこに狙いを置き、そのためにはいろいろな工夫が必要。	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 報告済（平成26年3月12日）	委員の皆さまのご意見、ご協力、あとネットワーク等もぜひご活用させていただきたい。
	平成25年6月21日開催の調整会議			
10	谷口委員	資料3「年金事務所別の後納制度利用状況・納付状況」の徳島北・阿波半田年金事務所に比べ徳島南年金事務所の相談受付件数が非常に多いが何か要因はあるのか	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 報告済（平成26年3月12日）	徳島市の国民年金の管轄は徳島北年金事務所であり、お知らせ件数は徳島北年金事務所で計上されているが、同じ市内にある徳島南年金事務所の方へご相談に行かれた方も多かったものと考えている。
	平成26年3月12日開催の調整会議			
11	青木委員	マスコミ等に対して、資料を情報として提供するなどして、後納制度の説明や状況を記事で広報してもらおう等の試みもよいのでは。	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 報告済（平成26年3月12日）	そういった機会を作れるようにしたい。
	平成26年3月12日開催の調整会議			
12	米澤委員	「年金セミナー」について、2年生の学生が対象ですが20歳ということ意識して対象として選定されたのか。	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 報告済（平成26年3月12日）	基本的には、20歳になる学生で、これから年金に加入、納付となる年齢です。
	平成26年3月12日開催の調整会議			
13	三宅委員	年金エッセイ募集の学校への働きかけについて	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 報告済（平成26年3月12日）	徳島県教育委員会へ協力依頼を実施。県内大学、高等学校、中学校へ募集のポスター、リーフレットを送付。
	平成26年3月12日開催の調整会議			

※本書は回答を終えた案件も削除することなく追記を行います。

■ 委員から寄せられたご意見等に対する対応状況

資料5（徳島県）

番号	委員名	ご意見、ご質問等の内容	進捗状況	対応方針又は考え方
	開催年月日			
14	南委員	説明の言葉について、できるだけわかり易い言葉に置き換えるとか、もう少し詳しい説明が必要ではないかと感じた。 この制度は将来的にも維持されていく制度ですという説明をされた方がよい。	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 報告済（平成26年3月12日）	今後のセミナーの実施に活かしていきたい。
	平成26年3月12日開催の調整会議			
15	谷口委員	アンケートについて、講義を受ける前と後のイメージについて、五者択一となっているが、その理由も選択肢で選べるようにしたらいいのではないか。	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 報告済（平成26年6月13日）	全国統一的な様式となっており、また、スペースの関係もある。見直し等の時に要望としてあげたい。 なお、平成26年度のアンケート用紙について、見直しがされている。別添資料のとおり。
	平成26年3月12日開催の調整会議			
16	三宅委員	2000年生まれの方の試算があるが、何歳まで生きられたらという試算であるとの説明を加えたらと思った。資料が平成21年度財政検証結果レポートとなっているが少し古いのではないか	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 報告済（平成26年3月12日）	厚生労働省年金局から出ているものであり、新しい資料はまだ出ていない。出れば新しいものに差し替えをさせていただく。
	平成26年3月12日開催の調整会議			
17	村上委員	スタートしたばかりなので、企業に影響はないと思うが、これが進んできた時に各企業の年金委員の方にもこのようなことを行っているということを周知していただきたい。	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 報告済（平成26年3月12日）	委員研修会等での周知を図りたい。
	平成26年3月12日開催の調整会議			
18	米澤委員	高校生、大学生が対象であれば、障害年金等のこともクローズアップして説明をしたらよいと思う。	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 報告済（平成26年3月12日）	今後のセミナーの実施に活かしていきたい。
	平成26年3月12日開催の調整会議			
19	南委員	セミナー開催時のエッセイの入選作品集の配布	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 報告済（平成26年3月12日）	エッセイの作品集については、学校への配布についても考えていきたい。「知っておきたい年金のはなし」にも一部掲載されているのでこれを活用したい。
	平成26年3月12日開催の調整会議			
20	山本委員	地域型の年金委員の活動の場というのはあまりないのが現状であり、なかなか簡単には増やせない状況です。行政の方から自治体、地域の自治会、町内会に対してもう少し働きかけていただきたいと思う。	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 報告済（平成26年3月12日）	地域に向向くということで、自治体に働きかけていきたい。自治体を辞められた方に地域型の年金委員への委嘱をお願いする等広めていき、どのような活動をすればよいのかも協議しながら取組を進めていきたい
	平成26年3月12日開催の調整会議			

※本書は回答を終えた案件も削除することなく追記を行います。

■ 委員から寄せられたご意見等に対する対応状況

資料5（徳島県）

番号	委員名	ご意見、ご質問等の内容	進捗状況	対応方針又は考え方
	開催年月日			
21	米澤委員	今会議について、マスコミに対して積極的に働きかけていますか。	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 報告済（平成26年6月13日）	四国ブロック管内ではこれまで1件しか取材がない状況です。早めにプレスリリースをするようにしたい。
	平成26年6月13日開催の調整会議			
22	青木委員	年金セミナーで、もう少し文科省にも働きかけることが大事なのではないでしょうか。	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 報告済（平成26年6月13日）	一昨年から文科省にお願いをし、各県の関係機関および教育委員会に通知を出してもらっている。また、学生納付特例申請書の受付について、学校で受付できる仕組みも県の教育機関等へ通知を出してもらっている。
	平成26年6月13日開催の調整会議			
23	南委員	大学では持ち運びに便利なパンフレットを持って帰っている傾向です。少し小さ目なパンフレットにする工夫をお願いしたい。	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 報告済（平成27年3月19日）	学生納付特例や20歳での国民年金加入などのチラシ・パンフレットはA4版の三つ折りでの提供ができます。また、「国民年金・厚生年金 被保険者のしおり」A6版もありますので、設置をいただきたいと思います。
	平成26年6月13日開催の調整会議			
24	草野委員	年金セミナー開催の働きかけについて特定の学校、大学に直接お願いに行くことが有効。今回、年金推進員として教員のOBを推薦させてもらった。これまでのネットワークでセミナー実施に向けて進めていければと思います。	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 報告済（平成27年3月19日）	地域年金推進員の積極的な取り組みにより、徳島北管内の高校20校のうち8校10回および中学校1校の合計11回のセミナーが実施できました。アンケート結果では、セミナー実施前と実施後では、年金制度に対する理解が大幅に増加しました。また、多くの意見や要望もいただきました。今後も、地域年金推進員の力をお借りしながら、セミナーを実施していただいた高校中学は引き続き実施に向けて取り組み、また実施できていない高校は粘り強く要請を行っていく。
	平成26年6月13日開催の調整会議			
25	田村委員	地域年金推進員の委嘱要件②(管理担当事務所及び管轄地域内で活動できること)について、地域に沿った委嘱要件にした方がよいのでは。	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 報告済（平成26年6月13日）	原則は管轄区域内ですが、地域年金推進員のこれまでの経験やネットワークの中で、管理担当事務所と相談して柔軟に対応してもよいと考えている。
	平成26年6月13日開催の調整会議			
26	草野委員	マスコミに取り上げてもらうために、学校でのセミナー実施のうえに、他の団体で、今までやっていなかった協力関係の場をつくるなど、目新しさを出した方がよいのでは。	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 報告済（平成26年6月13日）	この会でいろいろご意見をいただき、より効果的なものを可能な限り取り入れて、マスコミに取り上げていただけるよう取り組んで参りたい。
	平成26年6月13日開催の調整会議			
27	南委員	「わたしと年金」エッセイについて、その作品をどう活用するかを考えていただきたい。うまく多くの人々に伝える活用の方法を考えていただきたい。	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 報告済（平成27年3月19日）	教育委員会や高校、大学などの教育機関、市町村、社会保険労務士会、関係機関等へ送付している。また、年金委員・健康保険委員の研修会での配布、年金事務所の待合室への設置や日本年金機構HPでも公表しています。今後も多くの人に読んでいただけるよう様々なところへ設置または配布を取り組んでいきたい。
	平成26年6月13日開催の調整会議			

※本書は回答を終えた案件も削除することなく追記を行います。

■ 委員から寄せられたご意見等に対する対応状況

資料5（徳島県）

番号	委員名	ご意見、ご質問等の内容	進捗状況	対応方針又は考え方
	開催年月日			
28	南委員	ねんきんネットについて、もう少し簡単・便利な仕組みにしてほしい。高齢者にとって利用しやすくしてほしい。	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 報告済（平成26年6月13日）	ねんきんネットも「より使いやすい、より便利に」の視点で進化を続けておりますが、高齢者にとってはまだまだ使いにくいと考えます。もっと簡単で分かりやすい仕組みに引き続き本部に要望してまいります。
	平成26年6月13日開催の調整会議			
29	南委員	地域相談事業の実施状況について、事務所ごとに数字がありますが、前年度と比べての数字があった方がより活発になった取組み、取組みが足りない事業が見えてくるのではないかと。	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 報告済（平成27年6月26日）	資料については、前年度と比較できるような資料を、できるだけ作成し提示したいと思います。今回は、年金セミナーの実施状況と納付率推移について提示します。
	平成27年3月19日開催の調整会議			
30	米沢委員	パンフレットやチラシの内容について、年金制度は分かりにくいとか、難しいというイメージがあるため、学生等や年金を受け取る側からの意見を取り入れ、初心者向け、学生向けとしたパンフ等を作成するということがよろしいか。	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 報告済（平成27年3月19日）	前回のこの会議で「チラシ等をコンパクトにできないか」というご意見に対しお示ししたものです。今後、そのような意見を取り入れて作成していきたい。
	平成27年3月19日開催の調整会議			
31	南委員	年金制度説明会において、年金セミナーと同様に説明会終了後、アンケートを実施してはどうか。そのアンケートによりフィードバックされることによって、制度そのものをもっと理解していただくことがこの事業の能率を上げていくためには必要ではないかと。	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 報告済（平成27年6月26日）	徳島北年金事務所ではアンケートを実施しているところですが、今後は全拠点において、事業所等に向いて年金制度説明会をする場合は、終了後にアンケートを実施していきたい。
	平成27年3月19日開催の調整会議			
32	高橋委員	今後のセミナー実施の参考とするため、年金セミナーのアンケートの集計方法は、大学、高校、中学、専門学校の4種類の対象者に分類した方が良いのではないかと。	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 報告済（平成27年6月26日）	年金セミナーについては、高校生を主として実施しているところですが、大学、専門学校、中学校においても実施するため、今後は4種類に分類して集計したい。
	平成27年3月19日開催の調整会議			
33	米沢委員	再就職支援セミナーで講師をした中で、再就職を支援する方に労働保険、社会保険を説明したが、年金のことを「もっと知りたい」という意見が多かった。女性の再就職に着眼して、関係機関にパンフを配布する等、事業展開してはどうか。	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 報告済（平成27年3月19日）	働く女性が多くなっているため、再就職を支援する関係機関等に対しパンフ等設置の協力依頼をしていきたい。
	平成27年3月19日開催の調整会議			

※本書は回答を終えた案件も削除することなく追記を行います。

■ 委員から寄せられたご意見等に対する対応状況

資料5（徳島県）

番号	委員名	ご意見、ご質問等の内容	進捗状況	対応方針又は考え方
	開催年月日			
34	中村委員	年金セミナーについては学生が対象だが、その保護者や一般（現役世代）の方も対象としていく方法もあるのではないかと。	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 報告済（平成28年10月28日）	<ul style="list-style-type: none"> ・地域型年金委員の活動として、取り組むことを考えている。（27.6.26） ・平成28年3月に、事業所に向いて、年金制度説明会を、55歳以上と55歳未満に分けて開催する。若い世代に対して、試みとして年金セミナーを開催する予定としている。また、28年度から学校の教職員や保護者に対するセミナーも計画中である。（28.3.24） ・平成28年3月に、40歳～54歳までの高校生・大学生の子供を持つ従業員を対象に、事業所に向いて、年金制度説明会を実施した。内容は、年金セミナー的であったが、受講者に好評であったため、今後、事業所に向いて実施する年金制度説明会の中に、55歳未満の従業員に対する年金セミナーも選択肢として追加することとした。また、教職員を対象とする年金セミナー開催に向け、年金推進員を通して学校側にアプローチしたが、時間的余裕がないため開催のメドは立たない状況である。その対策として、生徒向けの年金セミナーに、教職員の方にもできる限り出席していただくようお願いして何人かの教職員の方が出席している状況である。（28.10.28）
	平成27年3月19日開催の調整会議			
35	中村委員	保険料を納付した人と納付しなかった人の具体的な違いを示すことによって、年金に対する意識が違ってくるのではないかと。	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 報告済（平成27年6月26日）	年金セミナー打合せ会において、地域年金推進員からも、同様な意見が出ている。保険料を納めた人と納めなかった場合や免除（猶予）申請をした人と申請をしなかった場合にどのような違いがでるのかについて、具体的な金額を示す等、講師が説明するようにしていきたい。
	平成27年3月19日開催の調整会議			
36	中村委員	エッセイ作品集のドキュメンタリーを放映したり、また、「わたしと年金」エッセイを読んだ方が「ねんきんネット」の活用方法にも興味を示すようなしくみを作ると、より一層、お互いが、引き立つのではないかと。	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 報告済（平成28年3月24日）	<ul style="list-style-type: none"> ・エッセイ作品集のドキュメンタリーDVDの製作、及びエッセイ入賞作品集の最終ページにねんきんネットのPRを掲載することについて、本部へ要望します。（27.6.26） ・27年度エッセイ集に、「ねんきんネット」の広報については、不正アクセス問題のため実現していないが、引き続き、本部へ要望していきたい。（28.3.24）
	平成27年3月19日開催の調整会議			
37	南委員	徳島県では、「わたしと年金」エッセイ募集について、学校単位での応募が、まだ無いようだが、学校単位で応募できるよう開拓していただきたい。	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 報告済（平成28年3月24日）	地域年金推進員のセミナーに対する情熱とご尽力により、学校単位の応募が県下3高校からあり、生徒280人の応募があった。その中から、厚生労働大臣賞に次ぐ日本年金機構理事長賞を受賞した。機構本部で表彰式があり、その後、出身学校でも全生徒の前で表彰式を執り行った。このことが地元新聞にも大きく掲載された。また、1月に開催された校長会に、四国ブロック本部幹部が出席して、お礼と協力依頼を行うことができた。 28年度においては、年金セミナーを、高校1～2年生を対象として夏休み前に実施し、夏休みの宿題として、エッセイ応募に繋げていく計画をしている。
	平成27年6月26日開催の調整会議			
38	南委員	参加型年金セミナー資料について、学生は、生活費がどれだけかかっているか等は、イメージしにくいと考えるが、数字を使うことも困難と思うので、講師が、そのヒントになるようなこととお話してあげると良い。	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 報告済（平成28年3月24日）	年金セミナー資料については、制限がある中、地域年金推進員と年金事務所のセミナーPTが協議しながら、大学・専門学校、高校においても、進学校と就職校に応じた資料を作成して、それに合わせた講義をしている。また、生活費等に具体的な数字を使用することについては、日本年金機構HP等の資料を使用し、講師ができるだけ分かりやすく説明している。
	平成27年6月26日開催の調整会議			

※本書は回答を終えた案件も削除することなく追記を行います。

■ 委員から寄せられたご意見等に対する対応状況

資料5（徳島県）

番号	委員名	ご意見、ご質問等の内容	進捗状況	対応方針又は考え方
	開催年月日			
39	委員	年金セミナー実施後の生徒からのアンケート回答欄の「公的年金制度は必要だと思いますか？」の選択項目について、「必要ない」と回答し、その理由として、「5.民間の生命保険で生活」等は、学生には難しく、もう少し学生向けの選択肢にされたらどうか。	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 報告済（平成28年10月28日）	年金セミナーに関するアンケート用紙については、機構本部が作成し、全国共通として使用しているところですが、確かに学生の方にはピンと来ないかもしれません。この項目も含め、アンケート内容の見直しについて、機構本部へ要望を上げております。
	平成28年3月24日開催の調整会議			
40	委員	年金セミナー実施後の生徒からのアンケート結果について28パーセントの効果に繋がらなかった原因はわかりますか。	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 報告済（平成28年10月28日）	徳島県集計のアンケート結果では、「まあ良い」以上の評価がセミナー開催後は72%になり、残り28パーセントの原因の分析として、現行のアンケートでは、「意見欄」で判断するしか方法がなかったが、平成28年度からは、年金セミナーアンケートに、「今回、セミナーを受けた後も年金のイメージが良くなかった理由はなんですか？」というストレートな質問項目を追加するように改めました。したがって、アンケート集計結果により、「効果に繋がらなかった原因」を分析することが可能となった。（別紙アンケート参照、全国共通）
	平成28年3月24日開催の調整会議			
41	委員	県下高校に対して実施した年金セミナー・アンケートの内容と学校側からの要望について知りたい。	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 報告済（平成28年10月28日）	アンケートの内容は、年金セミナー開催に協力できるかどうかを質問し、協力できる場合は、開催時期と対象学年について回答をお願いするという、シンプルな内容となっています。（別紙、アンケート用紙を参照） 学校側から要望として、通常のカリキュラムの中では、年金セミナーを開催する時間的余裕がないので、修学旅行中や学期末考査後の特別時間割に入れさせてほしい旨の要望が多い。その結果、セミナー開催時期が12月～2月に集中してしまうことになる。
	平成28年3月24日開催の調整会議			
42	委員	年金事務所は、年金セミナー実施後の生徒からのアンケートの意見欄は生徒の生の声なので、これを今後の講義資料の中に組み込み、幅広い年齢層に対し講義ができるよう講義資料を充実して、年金推進員に協力してほしい。	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 報告済（平成28年10月28日）	年金事務所では、若手の県下年金セミナーPT（10名）を、昨年度より立上げ、セミナー講師や講師補助をしている。今年度は5月から毎月PT会議・研修会を開催して、重複開催等、年金推進員が講義できないときの講師として、講師養成研修と講義資料の見直しを実施している。また、年金推進員との打合せ会議を定期的で開催し、アンケート結果等も分析して、講義資料を改良した。 年金セミナーでは、専門学校、進学校、就職校など、受講生に合わせた講義資料作りや講義の流れに配慮するなど、年金推進員のレベルアップが図られている。今後も年金推進員と協力連携を図っていきたい。
	平成28年3月24日開催の調整会議			
43	委員	年金セミナーは、教職員や保護者に対するアプローチはしているかどうか。また、事業所に出向いての年金制度説明会において、お子さんをお持ちの親御さんや保護者に対しては何か説明をしているか教えてほしい。	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 報告済（平成28年10月28日）	教職員に対する年金セミナーの開催について、年度当初に県研修課に協力依頼したが、先生方が一堂に会することは困難な状況との回答であったため、当面は生徒に対する年金セミナーにできる限り多くの先生方に参加していただくよう、学校側をお願いしている。保護者に対するアプローチは、事業所に対して年金制度説明会をする程度である。年金制度説明会は、55歳以上の方を対象として、年金手続きや退職後の年金等について説明をさせていただいている。高校生や大学生の親御さんのみを対象した説明会は実施していない。ただし、年金制度説明会に40歳代や50歳代前半の方が参加している場合は、学生納付特例制度の説明もしている。
	平成28年10月28日開催の調整会議			

※本書は回答を終えた案件も削除することなく追記を行います。

■ 委員から寄せられたご意見等に対する対応状況

資料5（徳島県）

番号	委員名	ご意見、ご質問等の内容	進捗状況	対応方針又は考え方
	開催年月日			
44	委員	年金セミナーPT職員も講師をしているということだが、セミナー終了後のアンケート結果をよく分析して、年金制度をこれから支えていく若い世代に「将来の不安」や「制度の不透明さ」等を理解していただかないと将来に必ず影響がでると思う。特に生徒の「意見・感想」が一番大事な生の声なので分析に力をいれるようお願いしたい。	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 報告済（平成28年10月28日）	セミナー終了後に実施するアンケートの意見・感想は多くの生徒さんからいただいている。今後のセミナーPT会議・研修会において、詳しく分析して年金セミナーに役立てていくよう努めていく。年金セミナーについては、ほとんどは地域年金推進員の方に講師をお願いしているが、12月～2月にセミナーが集中するので、セミナーPT職員が講師をすることも多くなる。これまで地域年金推進員の方が講師をする場合も必ず補助者として参加させ、地域年金推進員の方の話し方等を実地研修させている。
	平成28年10月28日開催の調整会議			
45	委員	事業所に出向いて年金制度説明会の対象年齢を決めているかどうか。若い方に老齢年金の請求の説明は理解が難しいので、すべての方を対象とするより定年前の方を集める方が良いと思うがどうか。	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 報告済（平成28年10月28日）	以前は55歳以上の方を対象に説明会を開催していたが、若い方も年金制度そのものを知りたいというご意見もあり、今年度から若い方も含めて開催している。幅広い年齢層に対しても理解しやすい説明内容にするよう工夫をしている。年金への疑問は十人十色であり、だいたい説明会終了後に30分ほど延長して個別に質疑応答している。また、必要な方には年金加入期間照会票や年金見込額照会票をご記入いただき、後日、ご本人に直接郵送にて回答するサービスも実施している。本日のデモンストレーションは老齢年金請求について30分設定で開催したが、本番は基本1時間で開催している。
	平成28年10月28日開催の調整会議			
46	委員	国民年金保険料の納付率は、60%ということだが、残り40%の方の対応や取組み状況について教えてほしい。	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 報告済（平成28年10月28日）	40%については、国民年金保険料を納めていない未納者ということになるが、その中には、所得が少ないため一部免除申請が承認されても納められない方も含まれている。これら未納者全員に対し、納付勧奨を実施している。
	平成28年10月28日開催の調整会議			
47	委員	国民年金保険料を納付しない人に、厳しめの対応はできないか。また、納付しない理由は色々あると思うが、納められない原因を突き止めていけば、もっと対策ができると思うがどうか。 また、学生へのアプローチを強めていけば、今後の納付率にも繋がるのではないか。	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 報告済（平成28年10月28日）	国民年金は、未納者全員に納付勧奨している。一定所得があれば、差押え予告後、強制的に財産を差し押さえることはしている。また、学生へのアプローチについては、大学や専門学校に対するセミナー開催やイベントの協力依頼も含め、今後も強めていきたいと考えているところである。なお、高校生に対する年金セミナーにおいても、引き続き学生納付特例申請のPRに努めていく。
	平成28年10月28日開催の調整会議			
48	委員	DVDの視聴できるサイトとかあれば気軽にみられるのでは。また、5分くらいの短縮バージョンが好ましいと思います。	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input checked="" type="checkbox"/> 継続対応中 <input type="checkbox"/> 報告済	貴重なご意見として、本部関係部署に要望してまいります。
	平成29年3月16日開催の調整会議			
49	委員	以前は、機構のホームページにはリーフレット類が多く掲載されていたが、最近は少なくなった気がする。	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 報告済（平成30年3月20日）	委員の事務所を訪問し、機構ホームページ上のパンフレット類を確認。現在掲載してある分を確認していただきました。委員の希望された「厚生年金適用関係の手引き」については、各種手続きごとに、説明ページと届書ダウンロード機能がありますが、たしかに「手引き」は掲載されていないため、本部関係部署に要望してまいります。
	平成29年10月20日開催の調整会議			

※本書は回答を終えた案件も削除することなく追記を行います。

■ 委員から寄せられたご意見等に対する対応状況

資料5（徳島県）

番号	委員名	ご意見、ご質問等の内容	進捗状況	対応方針又は考え方
	開催年月日			
50	委員	年齢別の国民年金納付率がわかる資料を出していただけたらと思いますが、いかがでしょうか。	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 報告済（平成30年3月20日）	地域年金展開事業を審議していただくためにも、状況把握できる資料として今回から資料として提示します。ただし、年1回しかリスト作成されません。
	平成29年10月20日開催の調整会議			
51	委員	強制徴収、免除者数（特に学生納付特例）の件数等資料があればと思いますが、いかがでしょうか。	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 報告済（令和4年3月23日）	前回の会議でご要望がありましたので、今回から資料として提示します。
	平成30年10月17日開催の調整会議			
52	竹中委員	資料を拝見して皆様方の仕事の大変さを感じました。ところで配布された資料が1～10と相当な量があり作成や印刷にもかなりの時間がかかっていると思います。内部では必要な資料であっても運営調整会議委員としては必ずしも必要でない場合もありますので配布資料を検討しても良いのではないかと思います。	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 報告済（令和4年3月23日）	前回の会議でご要望がありましたので、今回から資料を変更いたしました。
	令和3年3月書面開催の調整会議			
53	木屋村委員	現時点で新型コロナウイルス感染症収束の見通しが立っていないことや、徳島県が全国に先駆けて小中学校に加えて高等学校段階の生徒にも1人1台タブレット端末を配備する「徳島県GIGAスクール構想」が本格的にスタートするので、オンライン視聴など、工夫した説明会の開催が可能となります。	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 報告済（令和4年3月23日）	令和3年3月において新型コロナウイルス感染拡大が収束していないことから、日本年金機構は、「オンラインビジネスモデル実現の推進」を重点取組施策と位置づけて取り組んでおり、地域年金展開事業についても、年金セミナー・年金制度説明会・年金委員研修等のオンライン開催等、対面型から非対面型による取組への移行を更に進めています。 なお、実施にあたってはWeb会議ツール等を使用した非対面による実施を基本としますが、教育機関から要請があり、当該機関における新型コロナウイルス感染防止対策の徹底が可能な場合は、対面での開催も可能です。また、セミナー用動画（DVD）を活用した方法も検討していきたいと思います。
	令和3年3月書面開催の調整会議			
54	角委員	資料6によりますと、県内3事務所とも20歳での国民年金保険料の納付率が低いことが見受けられます。そのことに鑑み、更なる制度周知（障害年金、学生納付特例等）の必要性を感じております。	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 報告済（令和4年3月23日）	「日本年金機構令和3年度計画」において、20歳到達者について、職権による資格取得を行った後、加入のお知らせと同時に納付書を送付することにより、納付が促され、納付月数が増加傾向にあることから、納付に重点を置いた制度周知及び納付勧奨に係る施策を強化するとしています。これを踏まえ、「20歳到達者は、制度の入口時点における取組状況が将来的な納付行動に及ぼす影響が大きいと考えられることから、納付に重点を置いた取組を早期かつ確実に実施する」としてしており、その取組の一環として、20歳到達者に対する加入前のお知らせを送付しています。 また、20歳になった時から国民年金の被保険者となり、保険料の納付が義務づけられていますが、納付が困難な場合、学生については、申請により在学中の保険料の納付が猶予される「学生納付特例制度」が設けられています。本人の所得が一定以下の学生が対象となります。学生納付特例制度の申請を希望される場合は、国民年金加入のお知らせ等と一緒に送付される学生納付特例申請書を利用していただくこととしています。また、学生ではない期間は、保険料免除・納付猶予制度の対象となります。
	令和3年3月書面開催の調整会議			

※本書は回答を終えた案件も削除することなく追記を行います。

■ 委員から寄せられたご意見等に対する対応状況

資料5（徳島県）

番号	委員名	ご意見、ご質問等の内容	進捗状況	対応方針又は考え方
	開催年月日			
55	中西委員	地域型年金委員について 奉仕的協力員という位置づけから無報酬である事や、その活動内容が多岐にわたり場合によっては相当な負担になる事等から、推薦に臨んでは、先ず制度の十分な周知を図ったうえで本人の申し出によることが望ましいと考えます。	□今回報告案件 □継続対応中 ☑報告済（令和4年3月23日）	年金委員は、年金制度について広く国民の皆さまに知っていただくとともに、制度への理解と信頼を深めていただくため、会社や地域においての普及・啓発活動を行っていただくために設置されました。地域型年金委員は、自治会や地域で活動することにより、年金相談が身近で気軽なものとして、地域住民と年金事務所を結ぶパイプ役として心強いものとなります。地域型年金委員の推薦にあたっては、原則として国または地方公共団体等の職員として年金事務に従事したことがある者または現に自治会長、民生・児童委員または社会保険労務士である者、その他過去に年金委員（社会保険委員および国民年金委員を含む。）として委嘱されていた者とされています。是非、制度の趣旨をご理解いただきたいと思います。
	令和3年3月 書面開催の調整会議			
56	仲野委員	・年金制度は、一般の方（特に若年層）には理解しにくい制度だと思います。コロナの対応として、非対面型の周知広報が進むのであれば、年代別の広報ツール展開など幅広い広報をすすめてはどうかと考えます。 ・若年層の納付率について、20歳になって初めての文書案内（年金手帳の交付など）が、面倒に感じさせないように、また、保険料の負担が、結果、将来の自分のためになるということが伝わりにくいように感じます。やはり、地道でも広報を続けていく必要があるかと思えます。	□今回報告案件 □継続対応中 ☑報告済（令和4年3月23日）	・日本年金機構では、年金セミナーや年金制度説明会を充実させるため、退職者及び外国人向けの制度説明の動画をそれぞれ作成し、日本年金機構ホームページ及び厚生労働省Youtubeチャンネル等に掲載し、階層別の周知・広報を進めています。 ・若年層対策では、県下の高校生に対する年金セミナーを実施し、『20歳になったら国民年金』という意識を持ってもらえるよう取組をしています。令和2年度からは、20歳到達者向けに制度周知用の動画を作成し、日本年金機構ホームページに掲載してお知らせしています。この動画は、若年者の意見を反映するためにモニタリングを実施した上で作成し、①年金制度やメリットなどの紹介、②保険料の納付方法、③学生納付特例制度、④免除・納付猶予制度、⑤臨時特例免除の5つで構成し、分かりやすい内容としています。また、日本年金機構公式Twitterからも毎月、周知・広報を行っています。令和4年2月には、職域型年金委員を委嘱している事業所に勤務している従業員を対象に、Microsoft Teamsを使用したオンライン年金制度説明会（老齢年金請求手続き、在職老齢年金について）を実施しました。今後もオンラインセミナー・制度説明会等を充実し、非対面型の周知・広報をさらに進めていきたいと考えます。
	令和3年11月 書面開催の調整会議			
57	中西委員	コロナ禍にあって、どの年金事務所とも保険料納付率が前年・前々年度を上回るなど地域年金展開事業による事業と職員の方々の丁寧な取組の成果であると拝察します。また、市町村（職員）の立場としてお願いがございます。私共の下には、「年金事務所との電話が繋がらない」という住民の切実な声が多数寄せられております。年金事務所の職員の皆様が大変なご苦労をされている事は承知の上でございますが、この点について更なるご検討をいただければ幸いです。	□今回報告案件 □継続対応中 ☑報告済（令和4年3月23日）	年金事務所の電話が繋がりにくいということに対して、ご迷惑をお掛けし大変申し訳ございません。日本年金機構の執り行う業務は、窓口や電話対応、バックヤード業務など多岐にわたっています。住民サービスの観点からも、いずれも大切な業務となっています。今回のご指摘については、貴重なご意見として承り、職員一同、より一層努力して参りたいと考えます。
	令和3年11月 書面開催の調整会議			

■ 委員から寄せられたご意見等に対する対応状況

資料5（徳島県）

番号	委員名	ご意見、ご質問等の内容	進捗状況	対応方針又は考え方
	開催年月日			
58	竹中委員 令和3年11月 書面開催の調整会議	<p>・徳島文理大学の主に3年生を対象として授業の際、次のことについて手を挙げてもらいました。（人数が多いので、数は数えていません）</p> <p>①年金の手続きについて、「納付」、「猶予」、「何もしていない」</p> <p>②年金制度について将来も続くと思うか、あるいは、給付額は維持されると思うか。</p> <p>③行政（国）や政治・政治家に対する信頼はあるか。</p> <p>その結果は次の通りです。</p> <p>①については、「納付」が若干、「猶予」もそれなりにいたが、半数以上が何もしていない。</p> <p>②は、2/3程は給付額は維持されないと思っている。</p> <p>③については、大半が信用も信頼もないとした。</p> <p>・ここで議論してもどうしようもないし公的年金事業の運営に大変なご努力をしている貴事務所には大変失礼ですが、納付率向上のためには、政府や政治家に対する信頼が最も重要なことだと思いました。</p> <p>・高校生へのセミナーに加えて、納付が始まる主に大学2年生に対面で周知することも効果があると思いました。その際、年金制度の課題も合わせて説明することが欠かせないと思います。なお、年金制度や行政への信頼ということから考えるとパンフレットやポスターの効果は疑問です。</p>	<p>□今回報告案件 □継続対応中 ☑報告済（令和4年3月23日）</p>	<p>貴重な授業でアンケートのお時間を取って頂き誠にありがとうございます。</p> <p>・この結果を受けて、年金制度が学生等の若年層に浸透しておらず、周知・広報が行き届いていないことを痛感しています。公的年金制度は、「世代と世代の支え合い」と言われるように、広く世代・年齢、地域・職域を越えた社会連帯の下に成立しているものです。</p> <p>公的年金制度の運営にあたる日本年金機構にとって、地域、教育、企業の中での年金制度の周知、理解や支援のネットワークの再生・再構築が喫緊の課題です。年金制度に対する理解をより深め、制度加入や保険料納付に結びつけるため、地域に根ざした「地域における年金運営の展開に関する事業」（呼称：地域年金展開事業）を平成24年度から実施しています。学生等の若年層に対して、年金制度の正しい知識や手続きを理解していただくこと、また、年金制度が身近で重要なものであると学んでいただくことは、地域年金展開事業の核となる取組です。</p> <p>・これまで地域年金推進員を委嘱している間は、高校生に対する年金セミナーを中心としていましたが、令和4年度については、大学生に対する年金セミナーも実施していきたいと考えます。</p> <p>・日本年金機構としては、「オンラインビジネスモデル実現の推進」を重点取組施策と位置づけて取り組んでいます。地域年金展開事業についても、年金セミナー・年金制度説明会等のオンライン開催等、対面型から非対面型による取組への移行をさらに進めていき、学生等の若年層に対して、年金制度の正しい知識や手続きを理解してもらえよう取組んでいきます。</p>
59	上野委員 令和3年11月 書面開催の調整会議	<p>コロナ禍における従来の説明会等が実施できなかった事例が多数あるがコロナを理由にできないというのは、理由として弱いので積極的な取組を望みたい。</p> <p>若い人達の年金離れ（加入はしていても気持ち、特に期待感が薄くなっている）の対策がのぞまれる。</p>	<p>□今回報告案件 □継続対応中 ☑報告済（令和4年3月23日）</p>	<p>令和3年度においても、新型コロナウイルス感染拡大が収束していないことから、日本年金機構は「オンラインビジネスモデル実現の推進」を重点取組施策と位置づけて取り組んでいます。地域年金展開事業についても、年金セミナー・年金制度説明会・年金委員研修等のオンライン開催等、対面型から非対面型による取組への移行をさらに進めています。</p> <p>若年層に対して、年金制度の正しい知識や手続きを理解していただくこと、また、年金制度が身近で重要なものであると学んでいただくことは、地域年金展開事業の核となる取組です。国民年金保険料の納付率については、年齢層が上がるにつれて高くなる傾向にあります。言い換えれば、若年層の納付意識の向上が重要な課題であると言えます。そのため、年金セミナー等の開催や20歳加入時の周知・広報など、さらに充実するよう取組んでいきます。</p>

■ 委員から寄せられたご意見等に対する対応状況

資料5（徳島県）

番号	委員名	ご意見、ご質問等の内容	進捗状況	対応方針又は考え方
	開催年月日			
60	仲野委員	<p>年度末、年度初めにかけて、年金の制度改正が多くメディアで報道されています。加入者への普及活動については、将来を見据えた、安心できるような丁寧な説明をお願いしたいところです。</p> <p>しかしながら、コロナの影響もあり、オンライン、DVDなど非対面での取り組みを進めていくとありますが、どうしても加入者に伝わりにくい部分もあると思います。制度周知には、特に若年層（大学生、採用間もない職員）の年金の将来に対する期待は低いと考えられるので、加入者との接点が増えるような取り組みをお願いします。</p>	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 報告済（令和4年10月27日）	<p>令和4年度は制度改正が多いことから、加入者の皆様への制度周知等の広報活動を充実していかなければならないと考えています。しかし、コロナの影響から、今年度においても引き続きオンラインやDVDでの説明会を実施していく予定としています。なお、対面による説明会も希望に応じて実施します。非対面の説明会では、伝わりにくい部分もあるとのご意見を踏まえ、今後は講義スタイルだけではなく、参加型の説明会（例えば「拳手」をいただく方法等）を検討します。</p>
	令和4年3月 書面開催の調整会議			
61	中西委員	<p>以前、運営調整会議（書面開催）において、地域型年金委員の一層の周知をお願いいたしましたところ、早速、本市の自治会や民生委員の会議に足を運ばれる等、真摯な取り組みをいただいたことに敬意を表します。</p> <p>年金委員の活動によって、年金相談がより気軽に行われるなど、年金制度がより多くの住民の皆様にも身近なものとなりますようご期待を申し上げます。</p>	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 報告済（令和4年10月27日）	<p>貴重なご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>年金相談が気軽に行え、年金制度が身近なものとなるよう、引き続き務めてまいります。</p>
	令和4年3月 書面開催の調整会議			
62	小笠委員	<p>・今後の年金制度において、将来の年金制度の屋台骨を背負うことになる若者の理解と協力は不可欠であると考えます。このため、すでに取り組みされている「動画」や「イラスト・マンガ（厚生労働省）」等を活用した若者向けの取っ付き易く、かつ、わかりやすい広報の充実にも努めていただきたいと思います。</p> <p>・働き方改革の推進及び（事業主負担を伴うものの）優秀な人材の確保の観点からも「短時間労働者の厚生年金保険の適用対象事業所（特に任意適用事業所）」の拡大及び積極的な運用のための周知広報にも積極的に取り組んでいただきたいと思います。</p>	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 報告済（令和4年10月27日）	<p>・学生等の若年層に年金制度の正しい知識や手続きを理解いただくことは重要なことです。日本年金機構としてそのための、手段として（1）広報誌、ポスター、リーフレット等お客様向け文書の作成及び配布、（2）機構ホームページへの掲載（3）チャットボットや動画の活用（4）SNS（Twitter等）及びインターネット広告等を計画しています。今後も、わかりやすい広報の充実にも努めてまいります。</p> <p>・短時間労働者の厚生年金保険適用対象事業所の拡大は、令和4年度の大きな事業の一つです。対象となる事業所に対して、社会保険労務士と協力しながら事業主からの相談対応、説明会等への講師派遣や従業員一人一人への年金相談等を行うこととしています。また、事業所調査時にも、短時間労働者の適用の範囲等をその都度ご説明をしています。周知に向けて引き続き取り組んでいきます。</p>
	令和4年3月 書面開催の調整会議			

※本書は回答を終えた案件も削除することなく追記を行います。

■ 委員から寄せられたご意見等に対する対応状況

資料5（徳島県）

番号	委員名	ご意見、ご質問等の内容	進捗状況	対応方針又は考え方
	開催年月日			
63	竹中委員	<p>高等学校・専門学校に対する年金セミナーが2学期3学期に集中することですが、開催依頼の送付時期をもっと早くした方がよいではありませんか。4月ではすでに担当の行事は決まっていると思われます。大学2年生が加入の時期となるものの、親元から離れて生活している場合、本人が気づかないことも多いと思います。大学生を対象に、年金セミナーとともに加入手続きについて、情宣活動などを実施したことはありますか。実績がなければ試行を検討してもよいと思います。</p>	<p>□今回報告案件 □継続対応中 ☑報告済（令和4年10月27日）</p>	<p>高等学校における年金セミナー実施のアプローチについては、新年度の学年主任にさせていただきたいとの要望があったことから、4月になって開催依頼を行っていたところです。4月になってからの開催依頼では、すでに年間行事の大半が決まっている状況とのご意見をふまえ、送付時期について地域年金推進員とともに検討したいと考えます。また、大学生の年金セミナーについても、学生の単位の取得等の関係から時間の調整が難しいところですが、大学側の理解が得られるようであれば実施していきたいと考えています。</p>
	令和4年3月 書面開催の調整会議			
64	松本委員	<p>「令和3年度 地域年金展開事業実施状況（資料2）」の中にある「ハローワークでの年金相談」について、社労士会でも毎週木曜日に年金相談を行っていますが、それも含まれていますか。</p>	<p>□今回報告案件 □継続対応中 ☑報告済（令和5年3月7日）</p>	<p>ハローワークでの説明会については、ハローワーク主催の雇用保険説明会の中で機構職員が参加し、年金制度等の説明を行い、届書の受付を行ってまいりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の影響もあり、現在実施ができていない状況となっております。社労士会で開催されている毎週木曜日の年金相談については、対象外として含んでおりません。</p>
	令和4年10月27日 開催の調整会議			
65	浅岡委員	<p>・「令和3年度徳島県年金セミナー実施状況（資料3）」について、高校、専門学校が多いですが、大学の実施はないのですか。大学生が対象だと将来に向けての話し、今何をしないといけないのか。例えば学特の届けを出さないといけないとか、高校生と比べると身近に感じると思います。 ・高校生や専門学校生が、年金セミナーアンケートの結果で「年金がもらえないのではないか」というのは、どこからそういう風になるのか聞かれたことがありますか。</p>	<p>□今回報告案件 □継続対応中 ☑報告済（令和5年3月7日）</p>	<p>・過去には大学でセミナーを行ったこともありますが、現在はコロナの状況等から実施をしておりません。国民年金制度、とりわけ学生納付特例制度を身近に感じている層ということもありますので、大学での年金セミナーを検討してまいります。 ・年金セミナーのアンケート結果については、機構本部で定めた様式を使用しているため、「年金がもらえない」などの理由を確認したことはありません。ご意見を踏まえ、より良い年金セミナーが実施できることもありますので、検討していきます。</p>
	令和4年10月27日 開催の調整会議			
66	仲野委員	<p>「令和3年度徳島県年金セミナー実施状況（資料3）」について、令和3年度の年金セミナーは19校22回1,360名。以前から実施されていますが、減っているのか増えているのか、今後増やしていく予定があるのでしょうか。</p>	<p>□今回報告案件 □継続対応中 ☑報告済（令和5年3月7日）</p>	<p>各学校へのアプローチも含めた、年金セミナーを専門に実施する地域年金推進員を2名委嘱し、令和3年3月までは、ほぼすべての高校で年金セミナーを実施できていました。令和3年4月から1年間の空白の期間ののち、今年の4月に改めて1名の方に委嘱できたという状況です。そのため、令和3年3月までの、地域年金推進員が年金セミナーを実施いただいた状況と比較すると、令和3年度の実施数はかなり少ない状況となりました。令和4年度につきましては、新たに地域年金推進員を委嘱をさせていただきましたので、令和3年度以上の取り組みを考えているところです。</p>
	令和4年10月27日 開催の調整会議			

■ 委員から寄せられたご意見等に対する対応状況

資料5（徳島県）

番号	委員名	ご意見、ご質問等の内容	進捗状況	対応方針又は考え方
	開催年月日			
67	今田委員代理山崎様	年金セミナーの模擬実施について、スマートフォンを持ち込んだ参加型になるような講習、またはインターネットに接続して行えるようなコンテンツがあれば、ねんきん定期便であったり、ねんきんネット等につなぎやすいと思いました。	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 報告済（令和5年3月7日）	徳島県だけで独自に導入することは難しいので、機構本部に意見を挙げさせていただきます。
	令和4年10月27日 開催の調整会議			
68	松本委員	年金セミナーの模擬実施で気になった点として、資料の内容について、各年金を受け取るためには何が必要か、という内容の記載がなかったということと、実際の年金セミナーでスマートフォンを持ち込んだ講習であれば、自分の意見を入れて質問がしやすいこともあるので賛同する意見でありました。	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 報告済（令和5年3月7日）	年金セミナーの資料等につきましては、機構本部で作成していますので、年金の受給要件として必要なもの等の資料で追記が難しい場合は、口頭で説明を行う等対応してまいります。
	令和4年10月27日 開催の調整会議			
69	仲野委員	国民年金保険料の徳島県納付率の全国比ほどのような状況でしょうか。	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 報告済（令和5年3月7日）	国民年金保険料の納付率につきまして、令和4年10月末現在は全国では71.5%、徳島県では72.6%、全国順位が29位となっております。
	令和4年10月27日 開催の調整会議			
70	上野委員	年金セミナー事業につきまして、具体的な取組事項のなかには「大学、高等学校、中学校での年金セミナー実施」とありますが、令和3年も令和4年も中学校の実施がないということ、及び小学校も対象にしてみたいかでしょうか。	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 報告済（令和5年3月7日）	中学校への年金セミナー実施につきまして、以前に開催要請を行ったことがありましたが、現在は開催の要請を行っておりません。中学校としてもカリキュラムの関係で、授業として実施していくことが難しいところもございますが、小学校での年金セミナーの実施も含めて検討してまいります。
	令和4年10月27日 開催の調整会議			
71	仲野委員	<ul style="list-style-type: none"> 20歳到達者年金制度説明会というものが今年初めて入っておりますが、経緯についてお伺いします。 年金セミナーアンケートの結果について、年金セミナー前のイメージ「まあいい」、「いい」イメージは、どういう情報から判断しているのかわかれば、別なアプローチ方法とか、周知広報ができるのでないでしょうか。 	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 報告済（令和5年3月7日）	<ul style="list-style-type: none"> これまでは個別に20歳に到達した方に国民年金の加入勧奨や、手続き勧奨の際に説明を行っていましたが、今年度より説明会の実施を事前に案内を行い、連絡いただいた方に説明をさせていただく機会として新たに取り組んだものです。手法を変えることにより20歳到達者に対し、広く周知広報を行っていきたいというところから20歳到達者制度説明会の実施となりました。 アンケートについては、機構本部で定めた様式となっており、年金セミナー前のイメージの理由等を記入する箇所がありませんでした。イメージの理由等の分析から、今までと違った周知広報のしかたも考えられることから、従来の質問事項とアンケート用紙のスペースの兼ね合いも含め、検討してまいります。
	令和4年10月27日 開催の調整会議			

※本書は回答を終えた案件も削除することなく追記を行います。

■ 委員から寄せられたご意見等に対する対応状況

資料5（徳島県）

番号	委員名	ご意見、ご質問等の内容	進捗状況	対応方針又は考え方
	開催年月日			
72	仲野委員	<p>・20歳到達者制度説明会について、何回何人参加されたのか、規模感について教えていただけますか。</p>	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 報告済（令和5年10月25日）	<p>・20歳到達前に手紙とパンフレット等を送付、電話や来所いただいたりしておりますが、300件程度の送付に対して、3～4件程度の反応です。改善の余地もありますが、期待する件数まで届いていないのが現状です。</p>
	令和5年3月7日 開催の調整会議			
73	浅岡委員	<p>・20歳到達者制度説明会に来所される方について、学生であれば、大学とかのセミナー等で学特や免除の説明を聞いて、届け出に來られると思いますが、それ以外の方が來られるのでしょうか。</p>	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 報告済（令和5年10月25日）	<p>・阿波半田年金事務所では毎月30名ぐらいを対象に送付し、反応は数名程度となっています。来所される方は本人だけでなく親御さんの場合もあります。</p>
	令和5年3月7日 開催の調整会議			
74	浅岡委員	<p>・ねんきんネットの普及率はどのくらいでしょうか。令和4年度事業実績では800万を超えていると思います。以前は、マイナポータル経由のねんきんネットのアクセスは数千くらいしかありませんでしたが、改良以降の令和3年度末で70万人くらい一気に増えました。今年は半年で130万くらい、下半期ではもっと増えていると思われます。ねんきんネットを使って20歳到達者制度説明会等のアプローチをかけていくのも重要ではないかと思われます。</p>	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 報告済（令和5年10月25日）	<p>・令和4年度末時点での「ねんきんネット」利用者数は約908万人となり、令和3年度末から約138万人の増加となりました。また、マイナポータルとの認証連携者については、スマートフォンからの認証連携に対応した令和3年7月以降、急速に利用者が増加し、令和3年度末時点の約70万人から、令和4年度末時点では約216万人まで増加（ID・PW方式ユーザーは約8.3万人減少し、マイナポータル経由ユーザーは146.5万人増加）となりました。 ねんきんネットを使った取り組みについて、非常に有効と考えており、国民年金の加入の届出や保険料免除等の電子申請ができます。また、令和6年1月からは納付書がなくても、ねんきんネットからペイジー納付ができる機能等が追加される予定となっています。なお、国民年金の電子申請については、マイナポータル開設者全員に対してはマイナポータルの「お知らせ」へ通知を、ねんきんネット利用者（有効ID保有者）に対してはお知らせメールを送付して周知を行っています。</p>
	令和5年3月7日 開催の調整会議			
75	浅岡委員	<p>・年金委員の厚生労働大臣表彰は、ここ数年がいなかったのでしょうか。大臣表彰にも規定はありますが、受賞されると励みになるということも伺います。ぜひ推薦して喜んでいただければと思います。</p>	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 報告済（令和5年10月25日）	<p>・令和4年度の受賞者はありませんでしたが、直近では令和2年度に1人が受賞されています。大臣表彰の条件につきましては、年金委員として20年という要件があり、相当限られた方ということになります。大臣表彰までに退職や異動等で表彰を受けられない候補者もいらっしゃることは承知しています。該当される方には受賞いただけるよう努めてまいります。</p>
	令和5年3月7日 開催の調整会議			
76	高橋委員	<p>・年金セミナーについて、講師職員と補助者職員となっていますが、これは日本年金機構職員が行っていますか。 ・1年生から3年生まで、対象クラスが30名前後が多いように見受けられますが、1つのクラスで行っているのか、それとも任意で呼びかけて集まっていた方を対面で行っているのでしょうか。 ・DVDのセミナーについて、どのくらいの時間で行って、質問等はどういう風に集約していますか。</p>	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 報告済（令和5年10月25日）	<p>・講師につきましては、年金事務所の職員が赴いて行っています。以前は地域年金推進員がいましたが、令和3年3月に退任したため、令和3年度は空白でした。4年度から新しい方に委嘱をしましたが、初めてということもあり、年金事務所職員が実施してきました。 ・対象者につきましては、それぞれの学校のオーダーに基づいて行っているため、全員の場合同じ場合はクラス単位での場合もあります。 ・DVDにつきましてはおおむね40分程度で、アンケートにつきましては対面と同じものを使って、集約等も含めて先生にお願いをしています。</p>
	令和5年3月7日 開催の調整会議			

※本書は回答を終えた案件も削除することなく追記を行います。

■ 委員から寄せられたご意見等に対する対応状況

資料5（徳島県）

番号	委員名	ご意見、ご質問等の内容	進捗状況	対応方針又は考え方
	開催年月日			
77	伊丹委員代理様 令和5年3月7日 開催の調整会議	<ul style="list-style-type: none"> 年金セミナーに参加された方から、「よくある質問とか勘違いしそうなことを説明してほしい」、「自分が何をしたらよいか、わからなかった」、「どういことをしたらいいのかわかってほしい」との感想を聞いていますがいかがでしょうか。 	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 報告済（令和5年10月25日）	<ul style="list-style-type: none"> ご意見を踏まえて、疑問点が少しでも払拭できるよう、今後の年金セミナーの中で反映させていただきたいと思います。
78	上野委員 令和5年3月7日 開催の調整会議	<ul style="list-style-type: none"> 年金セミナーのアンケート回答率について何パーセントだったのでしょうか。 年金セミナーのアンケートの方法について、サイトにアクセスしてアンケートを回収するという方法もいろんな機関でとられていると思いますが、今後どのように展開されていくのかお教えいただければと思います。 	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 報告済（令和5年10月25日）	<ul style="list-style-type: none"> アンケートにつきましては、全員の方に書いていただいております。 インターネット機能等を活用したアンケート方法については、日本年金機構では、現時点でそういった端末等を持ち合わせていないため、課題と考えます。
79	上野委員 令和5年3月7日 開催の調整会議	<ul style="list-style-type: none"> 日本で住む海外の方で働いている方も年金を納める方が増えています。主に企業に就職されている場合は担当者とか、職域型年金委員、社労士の外郭団体が発行しているリーフレット等で理解度を深めているのが現状と思いますが、海外の方についてもセミナーを実施していただくことは可能でしょうか。 	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 報告済（令和5年10月25日）	<ul style="list-style-type: none"> 事業計画の中には記載していませんが、ご依頼をいただいた場合は、それぞれ調整等させていただいた上で随時対応いたします。また、退職される方が多い場合とか、年金の受給に関しても調整のうえ、対応いたします。
80	小笠委員 令和5年3月7日 開催の調整会議	<ul style="list-style-type: none"> 地域年金展開事業では公的年金制度の普及・啓発が基本で、伝えることに特化されていると感じます。いろいろな人と話して聞く、意見交換を行う機会なども必要ではないかと思われま。年金セミナーは小中高大と一括りになっていますが、大学生は20歳でまさしく国民年金保険料の負担する義務が生じる世代。その前の高校生は、広く薄く知る世代なので、セミナーの内容も変わってくると思います。職員の家族から聞いた話では、「保険料を払っていない」「年金制度そのものが将来どうなるのかわからない」などと同級生と話しをする機会があると聞きます。一方、クレジット納付は「ポイントがつくのが良いから払う」という話や、スマホのアプリやPayPayなど電子納付があれば非常に使い勝手が良いという話もありました。そういった意味から、いろいろな人の意見を聞く機会を設ける必要があるのではないかと感じました。また、以前はパソコンを使った検索でしたが、今はスマホで、ハッシュタグ検索が中心となっており、大半がスマホで済むようになっています。今後はそのような形態での取り組みも必要ではないかと思ひます。 	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 報告済（令和5年10月25日）	<ul style="list-style-type: none"> 地域年金展開事業では、情報の発信がメインとなった計画が多いのが事実です。大学校でセミナーを行った場合は、説明を行った後にディスカッションという形ではなく、個別にご質問をいただいて相談を行い、理解をいただいています。ここ数年はコロナの影響もあり、そういった取り組み等ができていなかったところがありました。ご意見を踏まえて取り組んでいきたいと思ひます。また、スマートフォン等の取り組みにつきましては、ねんきんネットから国民年金等の電子申請（関係届、免除、猶予、学生納付特例）ができます。また、国民年金保険料の納付について、令和5年2月20日からスマホ決済ができるようになっています。

※本書は回答を終えた案件も削除することなく追記を行います。

■ 委員から寄せられたご意見等に対する対応状況

資料5（徳島県）

番号	委員名	ご意見、ご質問等の内容	進捗状況	対応方針又は考え方
	開催年月日			
81	仲野委員	<ul style="list-style-type: none"> ・地域年金展開事業をより効果的、充実したものにしてい、そういった視点を少し持っていく必要があるのではないのでしょうか。参加者数やセミナー数を増やす、セミナーを開催した後の意見交換、アンケートでの改善点を活かしていく等、そういったところを行い、フラッシュアップしていくことが必要なのではないのでしょうか。 ・地域年金運営調整会議の委員同士の協力による連携で相乗効果のある取り組みもでき、スケールメリット以上のものが生まれるのではないかと思います。この会議の進行も、事業をより良いものにするにはどうしたらいい、そんな議論を行うようなものにしてはどうかと思ひます。 	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 報告済（令和5年10月25日）	<ul style="list-style-type: none"> ・貴重なご助言、ご指導いただきありがとうございます。課せられた課題をしっかりと受け止めることが我々の使命と考えています。
	令和5年3月7日開催の調整会議			
82	高橋委員	<ul style="list-style-type: none"> ・国民年金保険料の強制徴収について、過去であれば強制徴収までもっていくことがなかなかできなかったと思うのですが、催告状から督促移行に、大々的に国民年金は強制徴収するという広報をされてはどうでしょうか。 	<input type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 報告済（令和5年10月25日）	<ul style="list-style-type: none"> ・強制徴収については、コロナの影響もあり、ここ数年は実施していませんでしたが、令和4年度から再開となりました。強制徴収により納付に結びつけることは本意ではありませんが、やらざるを得ない状況もご理解いただきたいと思っています。広報につきましては、厚生労働省等の調整もありますが努めていく所存です。
	令和5年3月7日開催の調整会議			
83	高橋委員	<ul style="list-style-type: none"> ・エッセイ募集に関する協力依頼でマスコミへのプレスリリース、大学、専門学校へのポスター掲示等のお願いをしていると思ひますが、毎年8月に開催される県の校長会に対して、令和4年度は何か依頼を行ったのでしょうか。 	<input checked="" type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input type="checkbox"/> 報告済	<ul style="list-style-type: none"> ・県の校長会に対しては行えておらず、各学校・関係機関等への協力依頼のみとなっています。今後において検討していきます。
	令和5年10月25日開催の調整会議			
84	仲野委員	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の件数、数とかを年度当初に目標値として計画を立てられていると思ひますが、結果としてこの年度の合計が目標数値にある程度見合ったものなのでしょうか。 	<input checked="" type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input type="checkbox"/> 報告済	<ul style="list-style-type: none"> ・各事業に対し目標の設定があり、令和4年度においては、目標達成となりました。「年金セミナー」や「年金委員の委嘱」などがその項目となっており、各年金事務所で、目標達成に向けて行動しています。
	令和5年10月25日開催の調整会議			
85	小笠委員	<ul style="list-style-type: none"> ・出張年金相談について、阿波半田年金事務所の出張相談が少ないようですが、人口であるとか、職員数とか、予約が少ないなどの理由があるのですか。 	<input checked="" type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input type="checkbox"/> 報告済	<ul style="list-style-type: none"> ・徳島北、徳島南においては、土地柄や事務所に来られるのにも非常に距離もあり、過去から出張年金相談を通年的に実施しています。阿波半田の場合は、遠方地であってもおおむね1時間程度でお越しいただけることや、事務所の規模もあることなどにより、11月のねんきん月間の一環で出張相談を実施しているのが現状です。
	令和5年10月25日開催の調整会議			

■ 委員から寄せられたご意見等に対する対応状況

資料5（徳島県）

番号	委員名	ご意見、ご質問等の内容	進捗状況	対応方針又は考え方
	開催年月日			
86	松本委員	<p>・社会保険労務士会では、労働保険、社会保険に関して出前授業で説明を行い、今後授業数を増やしていく計画をしています。年金については、「年金セミナー」と重複しているところがあり、お互い協力をして実施することができるのかお伺いしたい。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input type="checkbox"/> 報告済	<p>・機構としましては、各学校に案内を差し上げて日程調整を行っていますので、社労士会様と重なったり、調整を行ったりしたことはありませんでした。今後、学校への案内等も含め、社労士会様と情報交換できれば、建設的な有効な取り組みにつながっていくことから、ご相談できればと考えています。</p>
	令和5年10月25日 開催の調整会議			
87	仲野委員	<p>・令和4年度 徳島県 年金セミナーアンケート集計結果（資料4）の4、8ページの詳しく説明してほしい内容では、「負担と給付」や、「破綻しない」、「免除制度」が上位で、10ページでは年金制度は必要でないと回答した人の多くの意見で「将来の年金が不安」とあるので、若い世代、若年層は複雑な制度を丁寧に説明していく必要があり、地道な広報、周知が必要と改めて感じました。今後の事業計画には、若年層も含めより浸透するよう計画を立てていただければと思います。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input type="checkbox"/> 報告済	<p>・アンケートの結果を踏まえて、年金セミナーにおいて不安が払拭できるよう努めてまいります。</p>
	令和5年10月25日 開催の調整会議			
88	酒井委員代理赤澤様	<p>・令和4年度から「公共」という必修科目が入り、その学習指導要領の中には、社会保障、金融教育、消費者教育の重要性が取り上げられ、今年2年生から実施する学校が非常に多い。その授業の中でセミナーの実施をしていただければありがたいと思います。また、学年で実施するケースが多いと思いますが、クラスごとに実施をしていただいた取り組みの方が、おそらく子供たちにとって理解がしやすい。例えばワークショップとか、体験型の取り組みとか、そのようなものを取り入れていただくよう検討していただければと思います。「公共」の授業に専門家、関係機関との連携を抱え、外部との連携が大事だと感じていますので、ぜひ、ターゲットとしていただいて、各学校に要請していただければと思います。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input type="checkbox"/> 報告済	<p>・今年度においては、開催等も含め調整を行っている学校もありますので、次年度の開催に向けて努めてまいります。</p>
	令和5年10月25日 開催の調整会議			
89	高橋委員	<p>・セミナーの開催に向けて行っている講師や指導員は現在何名おられますか。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input type="checkbox"/> 報告済	<p>・現在、若手職員を中心にセミナーPT（プロジェクトチーム）を設置し、セミナーの講師を行っています。以前は学校長などをされていた方に年金推進員の委嘱を行い、年金セミナーの実施をお願いしていました。その方が辞められて以降、徳島県としては委嘱ができていない状況です。</p>
	令和5年10月25日 開催の調整会議			

※本書は回答を終えた案件も削除することなく追記を行います。

■ 委員から寄せられたご意見等に対する対応状況

資料5（徳島県）

番号	委員名	ご意見、ご質問等の内容	進捗状況	対応方針又は考え方
	開催年月日			
90	浅岡委員 令和5年10月25日 開催の調整会議	<p>・セミナーの実施結果、「詳しく説明をしてほしい内容」の「公的年金制度が破綻しない」は、四国内どこもこの数字が大きい状況です。年金機構の資料だけでは制度や、負担と給付の関係が作り切れないということであれば、年金局とのタイアップもあろうかと思えます。</p> <p>また、先ほど出前授業という話もありましたが、厚生労働省でやっている学生との対話ショップのようなものは全国どこでも行きますので、活用していただければと思います。私は、香川大学で年金の講義を行っていますが、学生から将来年金がもらえない、年金が破綻するのかもしれないのか、圧倒的に焦点となっています。そのあたりをもう少し深掘りしてもいい気がします。</p> <p>・以前伺った際にセミナーのターゲットとして高校生が多く、コロナの影響から大学では行っていないということでしたが、大学へのアプローチは行わないのでしょうか。大学のホームページに年金情報のリンク等を貼っていただき、年金機構のホームページにつながる等の要請を行ってみてはどうか。学生納付特例制度で事務を行うところが伸び悩んでいるのですが、セミナーで大学にアプローチをかけていないのに関連しているような気もしています。セミナーのアプローチについても、4月5月に依頼を行うのが良いのか、前年度に依頼を行うのが良いのか、こういったところの整備がうまくいくともう少し全体的に回せるような気がします。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input type="checkbox"/> 報告済	<p>・学校との対話集会の話については、厚生労働省とそういった連携ができればお願いしたいと考えています。</p> <p>・大学へのアプローチについては、今年度徳島文理大学、徳島大学で行う予定で日程調整を行っているところです。</p>
91	古谷委員長 令和5年10月25日 開催の調整会議	<p>・大学では講座制を取っていますが、授業計画は基本的に教員が作り、そこに他の講義等を入れ込むのが非常に難しいのがネックとなっていて、カリキュラムも決まっていること、授業内容を変えられない等から特に国公立はアプローチが難しいと感じます。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input type="checkbox"/> 報告済	<p>・以前徳島大学で1年度に2回セミナーを開催し、翌年度の開催のお願いをうかがったところ、授業の時間数が増え開催が難しいとのことから、しばらく実施ができなかった状況でした。その際にも1年程度前からアプローチを行わないと、授業計画が確定しており、実施は難しいとのことでした。</p>
92	松本委員 令和5年10月25日 開催の調整会議	<p>・年金相談窓口で年金相談を行っているときに感じたことは、学生の親御さんが来られた際に、20歳になっている子供が年金をどのようにしたらいいのかという相談をよく聞き、学生納付特例や免除制度の周知というのも必要ではないのかと感じました。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input type="checkbox"/> 報告済	<p>・他県では支援学校や保護者の方を対象にセミナーを実施しているところもあり、徳島県でも、以前に障害年金の請求や、制度の説明の講師依頼がありました。今後においても要請があれば実施していきます。</p>

※本書は回答を終えた案件も削除することなく追記を行います。

■ 委員から寄せられたご意見等に対する対応状況

資料5（徳島県）

番号	委員名	ご意見、ご質問等の内容	進捗状況	対応方針又は考え方
	開催年月日			
93	伊丹委員代理梯様 令和5年10月25日 開催の調整会議	<ul style="list-style-type: none"> ・窓口で相談を行っていた際に特別支援学校に入っていらっしゃる保護者の方から、年金請求等の問い合わせがあるので、そういった方へも障害年金の関連の説明を実施してみてもどうでしょうか。 	<input checked="" type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input type="checkbox"/> 報告済	<ul style="list-style-type: none"> ・支援学校に対しては、アプローチも含め実施できていない状況です。今後検討のうえ、実施できるよう努めてまいります。
94	浅岡委員 令和5年10月25日 開催の調整会議	<ul style="list-style-type: none"> ・20歳到達者には各種チラシ等が送付されると思いますが、年金がわからない人に対して、先ほど言われた親子セミナーのような説明する場のようなものはできないのですか。 ・学生本人は20歳になったばかりで、制度説明会の案内をもらっても遠い将来の話のように感じるのだと思います。現に、年金制度を知らない人も多いし、学特も知らない人も多いので、親へのアプローチがかけられないのでしょうか。徳島県だけではなく、全国的な話かもしれませんが、学特の手続きや保険料の支払いも親がしていることが多いのでそういうアプローチの仕方も一つの方法だと思います。 	<input checked="" type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input type="checkbox"/> 報告済	<ul style="list-style-type: none"> ・20歳到達する前月に、保険料の納付方法や学生納付特例等とあわせて制度説明会のチラシを送付しまして、保険料納付促進や未納者の発生防止の取り組みを実施しました。年金事務所を会場としてご案内したところ、来られる方は1割弱という結果になり、現段階では出席率が伸び悩み模索している状況です。 ・20歳の到達の方に対してお届けする通知については、封筒に「世帯主の方もご覧ください」と表示する等、本人だけではなく、世帯主の方へのアプローチも必要であると考えます。
95	仲野委員 令和5年10月25日 開催の調整会議	<ul style="list-style-type: none"> ・私の子供も20歳になった時に長3封筒で、納付書やいろんなチラシがたくさん入っていて、子供にとっては、わけのわからないものが届いたという記憶があります。最初の導入に難しい案内が届くというのを事前にお知らせいただければと思います。そこで、学生納付特例ができたり、保険料の支払いができたりすることがわかれば良いと思います。できれば、角2封筒で一度送付をして、理解度とかを調査してみてもどうかと思いました。20歳到達者にいろんな情報を配信することはいいことだと思いますが、ハガキ1枚でQRコードを使って、あなたの年金番号やお知らせ等がいつ届くのか等、携帯とかで見えるようにする、今の若い子たちにはそういったアプローチの仕方もあっていいのではと思います。そのような、WEBを使った取り組みが計画の中では少ないと思うので、試験事業としてやってみてもどうかと思います。 	<input checked="" type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input type="checkbox"/> 報告済	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、20歳到達時のご連絡については、前月に通知を差し上げています。保険料等の支払いが滞った場合に、連帯納付義務者も納付義務があるというような表示を行い、角2封筒等でお送りすることもあります。加えて学生納付特例を提出された方には、次年度ターンアラウンド方式で学生納付特例の申請書を送付していますが、それでも提出がない場合も角2封筒等を活用する工夫も行っています。また、オンラインビジネスモデルとして年金機構として取り組み、いろんな納付方法やスマートフォンでの電子決済システム等を開始しています。QRコード等も含め、機構本部に要望していきたいと思っています。

■ 委員から寄せられたご意見等に対する対応状況

資料5（徳島県）

番号	委員名	ご意見、ご質問等の内容	進捗状況	対応方針又は考え方
	開催年月日			
96	古谷委員長	<p>・高校でも現代社会が無くなって、公共という形に授業が変わって、金融教育も行うこととなっています。大学ではすでに証券講座を行ったりして、年金、保険に関しては出遅れているという気がしています。金融教育への民間企業のアプローチが大きいと、公的年金の講座よりそちらの方に引っ張られてしまう感じがあります。アプローチの仕方と、どういう形でシステムへの加入をやるか、おそらく大学に対してアプローチをするシステムが非常に難しいと思います。学生からは、在学中から年金を払いたいという学生が何人かいたり、どこに話しをすればよいか質問をされたりすることがあり、興味があると思いますのでよろしくをお願いします。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input type="checkbox"/> 報告済	<p>・年金セミナーや、講師の派遣依頼で対応を行い、個別の案件に対しては年金事務所をご案内できるよう、周知広報等啓発活動に努めてまいります。</p>
	令和5年10月25日 開催の調整会議			
97	松本委員	<p>・鳴門市、阿波市、吉野川市で出張相談を行っています。吉野川市の相談件数が少なくなっている中、開催場所の変更等はありませんか。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input type="checkbox"/> 報告済	<p>・過去から、この3か所については出張年金相談を行い、相談者が0名の時もありました。相談者が少ないことから、当該市と協議し、廃止の検討も行いましたが、「相談される方が少しでもいるので、ぜひ存続を」との依頼がありました。その経過から、他の場所に変更は難しいと考えますが、当該市に変更も視野に話しを進めていきたいと考えます。</p>
	令和5年10月25日 開催の調整会議			
98	高橋委員	<p>・地域年金展開事業の運営調整会議について、資料もそうですが、国民年金に偏りすぎているのではないのでしょうか。厚生年金の適用、徴収、電子申請、予約相談等、事業所に出向いて説明会をされていると思いますので、そういった取り組みも委員の皆様に見ていただいた方がいいのではないのでしょうか。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input type="checkbox"/> 報告済	<p>・機構本部と協議をいたしまして、検討を行ってまいります。</p>
	令和5年10月25日 開催の調整会議			
99	浅岡委員	<p>・11月のねんきん月間、11月30日の年金の日に全国的にイベントされ、徳島県でも年金委員の表彰式が行われ、地域型・職域型年金委員の委嘱についても進めていただいています。2020年の年金法改正で令和4年10月から101人超の事業所も短時間労働者の適用が進んで、令和6年には51人超の事業所が新たに短時間労働者の適用になっていく。適用を進めていくためには事業主の理解が必要になっていくので、こういったところと関連付けて年金委員を増やしていただきたいと思います。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input type="checkbox"/> 報告済	<p>・令和6年10月に施行されます51人以上の短時間労働者の対応につきましては、この下期に対象事業所の70%以上に訪問のうえ丁寧な説明を行う予定で、施行日の10月までに全対象事業所に対して制度説明会を実施する予定としています。年金委員の委嘱についても、積極的に進んでおり、四国地域部全4県が目標に向かって取り組んでいる状況です。</p>
	令和5年10月25日 開催の調整会議			

※本書は回答を終えた案件も削除することなく追記を行います。

■ 委員から寄せられたご意見等に対する対応状況

資料5（徳島県）

番号	委員名	ご意見、ご質問等の内容	進捗状況	対応方針又は考え方
	開催年月日			
100	谷本委員 令和5年10月25日 開催の調整会議	<ul style="list-style-type: none"> 年金セミナーは、対象が3年生ばかりで、4年度に阿南光高校のセミナーで、1年生に対して行っていますが、こういった取り組み、早い（若い）学生をターゲットにして、毎年など、高校卒業までに複数回セミナーを受けることができるように取り組みを行うことができないでしょうか。 年金セミナー等で話している内容はYouTubeなどで見ることができますが、もう少しわかりやすい、見やすい動画にしてみてもどうでしょうか。また、有名なタレントなどももう少し活用してみてもどうでしょうか。 	<input checked="" type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input type="checkbox"/> 報告済	<ul style="list-style-type: none"> 年金セミナーの対象者については、各学校からの依頼に基づいて実施をしているため、機構の希望によらないところです。ただ、複数回実施をすることは、年金教育として有効と思われることから、各学校に対して要望を行っていきたいと思います。 わかりやす動画等については、年金機構本部に対して要望をしていきたいと思います。
101	仲野委員 令和6年2月25日 開催の調整会議	<ul style="list-style-type: none"> 年金の支払いで、口座振替、クレジットカードがかなりお得という話がありましたが、どのくらいの申請者がいるのでしょうか。以前こういった支払いはQRコードでの決済とかを検討してみてくださいと話させていただいたのですが、これからの課題とと思いました。協会けんぽの場合は、ジェネリックへ切り替えた場合に、医療機関での支払いが安くなる案内で、特に若い方の反応、切り替え率が良く、価格とか支払う金額に関しては、すごく敏感に反応しているというのが数字として出て、これからの事業に展開していく時に、若い方をターゲットにしようというところがあったので、こういった前納の仕組みというのは、大学生などに、より積極的にアピールする、先ほどのQRコードの展開を行う、支払い方法の多様性など、そういったことで、より収納率も高くなるのではないかと、最近若い方の動向からそういった認識がありました。 	<input checked="" type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input type="checkbox"/> 報告済	<ul style="list-style-type: none"> 口座振替、2年前納、特に若い方はクレジットカードの納付に興味を持っていただけており、利用者を増やしているところです。徳島県においては、令和5年度末で1号被保険者が73,029人（令和4年度：74,969人）、そのうち納付対象者が38,156人（令和4年度：39,355人）おり、口座振替者15,065人（令和4年度：15,552人）、クレジットカード納付者が2,086人（令和4年度：2,029人）となっています。また、2年前納を利用されている方は1,910人（令和4年度：1,843人）となっています。また、QRコードでの決済等については、国民年金の保険料が、納付書と対応する決済アプリをお持ちであれば、その納付書のバーコードを、決済アプリで読み取ることによって、電子決済が可能であったり、ねんきんネットからインターネットバンキング等を利用してPay-easy（ペイジー）納付が可能となっております。ただ、ねんきんネットからのお支払いについては、現在、システムの都合により、サービスを停止させていただいております。再開に向けて対応中ですが、再開時期は未定となっております。
102	古谷委員長 令和6年2月25日 開催の調整会議	<ul style="list-style-type: none"> 学生は、基本的にスマホで生きているので、スマホで手続きが終わっていくようなものに、年金事業、納付とかを展開していくと思います。展望等を伺いたいと思います。 	<input checked="" type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input type="checkbox"/> 報告済	<ul style="list-style-type: none"> ねんきんネットを重点事業として取り組み、令和5年度には加入者数が1,000万人を超えました。マイナポータル経由でIDを取得いただければ、国民年金の保険料について納付書によらない納付や、届書の電子申請などができ、今後もいろんな申請ができるよう進めているところです

■ 委員から寄せられたご意見等に対する対応状況

資料5（徳島県）

番号	委員名	ご意見、ご質問等の内容	進捗状況	対応方針又は考え方
	開催年月日			
103	浅岡委員 令和6年2月25日 開催の調整会議	<p>・ねんきんネットは、インターネットからの接続とマイナポータルからの接続の2種類あって、マイナポータルからの接続者数は当初7,000人くらいだったと思いますが、現在はどのくらいの数でしょうか。</p> <p>・マイナポータル経由の方は、インターネットと違って政府統合ネットワークを使い、外部から一切侵入されないの、そういった利点があり、支払いとか、紙でやっていた届け出等を受け付けられる。インターネットでは、加入記録を見られたり、年金額の試算ができたりしますが、申請まではやっていないという違いがあり、先ほど委員長が言われた、「スマホで申請」、あるいはそういった手続きについては、政府統合ネットワークを使っているマイナポータルを経由してねんきんネットにつないでいただくというサービスを実施、あるいは本人に、こういうものの利用ができるというプッシュ型の通知を行い、利用者の拡大を行っているところだと思います。引き続き周知を行い、加入者数を増加していただけたらと思います。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input type="checkbox"/> 報告済	<p>・マイナポータル経由でかなりの方々にアクセスをいただき、マイナポータル経由のねんきんネット利用登録者数は、令和5年3月末では216万人となり、令和6年3月末では461万人となりました。また、ねんきんネットユーザーは令和5年3月末で909万人、令和5年10月に1,000万人に到達、令和6年3月現在ではユーザー数が1,098万人となったところです。</p> <p>・マイナポータル経由のねんきんネットにおいては、加入・納付・免除・申請・通知・情報照会に係る個人の手続きをオンラインで行える機能拡充を実施しており、令和6年6月からは老齢年金の受給に関する届出も可能となりました。引き続き加入者拡大に向けて、チラシの配布やお客様との接触機会を活用した個別勧奨を実施を行う予定としています。</p>
104	谷本委員 令和6年2月25日 開催の調整会議	<p>・セミナーの内容として、年金の保険料が年間でこのくらい集まり、年金額としてこのくらい支払い、集まった保険料の中でこのくらいの積み立てとか、運用方法、国債とか、株式とか、そういった収支等を含めたら興味を引いていただけるのではないのでしょうか。検討していただければと思います。</p> <p>・国民年金は掛け金が約16,000円、年金額が年間65,000円ほどで、老後が非常に厳しいと思います。厚生年金は個人の負担と同じだけ法人も保険料を負担していますので、社会保険に入っていることは有利になると思います。また、数年前から101人の短時間労働者が社会保険に入ること、職員にとってはうれしいことであり、法人にとっては非常に重い負担となってきたのですが、やはり、国民年金との差があります。国民年金は、追加納付というものもあると思いますが、国からの負担というものは何かあるのでしょうか。また、追加納付というものはいくらぐらいまで可能でしょうか。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input type="checkbox"/> 報告済	<p>・セミナーとしては、国民年金あるいは、厚生年金の制度全般の説明、免除制度の説明等が中心となっています。そういった収支報告的なものについては、触れていないのが現状です。</p> <p>・直接的な負担というのは、給付の際に基礎年金の半分が国庫負担となっています。残りの半分を保険料の負担で賄っていることもありますので、そういう意味での負担ということであれば、国からも拠出金が出ております。また、追加の制度ということでは個人の負担になりますが、付加保険料や、別組織の国民年金基金というものもあり、基礎年金の上積み給付を個人で行っていただく制度もあります。付加保険料については、国民年金保険料に1ヶ月400円の負担増となります。国民年金については、基礎年金のみ支給となり、厚生年金については、企業負担分も含め2階部分がありますので手厚い制度となっています。</p>

※本書は回答を終えた案件も削除することなく追記を行います。

■ 委員から寄せられたご意見等に対する対応状況

資料5（徳島県）

番号	委員名	ご意見、ご質問等の内容	進捗状況	対応方針又は考え方
	開催年月日			
105	小笠委員 令和6年2月25日 開催の調整会議	・年金セミナーについて、内容としては制度の話等で、対象者を見ると国民年金を意識しながらの年金セミナー等という位置づけでよろしいでしょうか。	<input checked="" type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input type="checkbox"/> 報告済	・20歳になる国民年金の方というところになりますが、学校を卒業され、就職される方もいますので、「老後の年金」、「障害年金」、「遺族年金」、「厚生年金に入れば自動的に会社から保険料を引かれる」、「国民年金の場合は、納付いただくか免除制度を利用しないといけない」等の制度全般の話をしています。
106	松本委員 令和6年2月25日 開催の調整会議	・窓口で、学生でない一般の若い方から、将来年金はもらえない、もらえるのか不安と話される方がいます。保険料を払っていただいでこのくらいの年金額と話しをすると、自分たちはもらえないとか、もらえる時期が遅くなるとか話が出るので、保険料を払っていただくとか、制度等の説明も必要だと思いますが、もらえないという不安が解消されるような、安心して加入して保険料を支払っていくことができるような説明等、そういう方向も必要ではないかと思えます。	<input checked="" type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input type="checkbox"/> 報告済	・年金セミナーでも講師の方から説明していますが、十分に伝わり切れていないところもあると思いますので、引き続きセミナーの説明の仕方、資料の面も含めて、工夫をしながら取り組みを充実、拡充していきたいと思えます。
107	古谷委員長 令和6年2月25日 開催の調整会議	・今年年金セミナーをやってもらって、学生は知らないということがすごく大きく、納付方法もよくわかっておらず、年金セミナーでは納付方法とか説明を行っていて参考になりました。また、破綻はしないというような話等も学生にとってみれば、そういうものなのだと思えます。学生からの、預貯金で対応できるという話で、年金というのはどこを支えるものか、新NISAとかそういったものができているので、それでいいのではないか、また国民年金と国民年金基金の違い、民間が行っている年金保険と国民年金とは何が違うのですか等、その辺の違いを年金セミナーの中で、公的年金と民間は違っているし、その資産の積み上げ方を年金で積み上げているものと、預貯金とか債権とか、そういうもので積み上げているという違い等を説明していくと学生にとってはわかりやすい。学生だけでなく一般の方にもわかりやすいと思えますので、そういうものができるとすれば、年金セミナーとして非常にいい形で完結できると思えます。	<input checked="" type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input type="checkbox"/> 報告済	・対象となる学生の意識とか、事前のマーケティングも含めたうえでプレアナウンスができることが望ましいのですが、現段階では統一的な形で行っている一面もありますので、こういった声も踏まえて、より充実できるよう努めていきたいと思えます。

■ 委員から寄せられたご意見等に対する対応状況

資料5（徳島県）

番号	委員名	ご意見、ご質問等の内容	進捗状況	対応方針又は考え方
	開催年月日			
108	仲野委員	<ul style="list-style-type: none"> ・よく民間の保険で、例えば500万払い込んだら、将来的には550万を年金でもらえるとか、亡くなったらもらえる等ありますが、いくら払ったらいくらもらえるのが明確になっているかと思っています。国民年金も厚生年金もある程度モデル試算があると思いますが、それで説明できると思います。ジェネリックや前納の切り替え等、若い方はそういうことに敏感のかもしれないと思いました。若い方に入ってもらうには、親子での相談会等、そういった機会も設けてもいいのではないのでしょうか。 ・年金の運用について、運用していることを知らない、うまく伝わっていないと思います。そういうことを知らないで、新NISAとか、預貯金とかに行くと思うのですが、運用されていて、運用実績があって破綻をしないようにやっているというのも一つの説明できる内容ではないかと思いました。 	<input checked="" type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input type="checkbox"/> 報告済	<ul style="list-style-type: none"> ・国民年金の場合で、両親とか、世帯主の方に訴えるべきではないかということに対しては、20歳になる前に本人宛で国民年金に加入する、こういった制度があるという内容の案内をしておりますが、世帯主の方もご覧くださいというアプローチをすでに行っています。 ・運用の関係につきましては、年金セミナーの時間帯というのが限られ、高校生というところもあって実施はしていませんが、例えば、企業に訪問しての年金制度説明会等は、制度運用の面であるとか、年金事務所によってはそういったお話しも含めてアピールしています。徳島県においても、これからいろんな説明会を行ってまいりますので、そういった内容についても検討させていただきます。
	令和6年2月25日 開催の調整会議			
109	松本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・社労士会でも出前授業を行ってまして、先日、中学生とか小学生を対象に出前授業を行った方がいて、中学生とか小学生は素直に聞いてくれ、もっと興味を持ってくれるので、そういったところからの年金セミナーはあり得ると思います。また年金セミナーは、相手からの希望がないとできないとのことですが、周知は高等学校までなのででしょうか。保険料を納付してもらうことを考えると、20歳に近い方が中心になってくると思いますが、今後の年金制度のことを考えると、小学生、中学生くらいの時から、年金制度の必要性を取り入れることも必要ではないかと思いました。 	<input checked="" type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input type="checkbox"/> 報告済	<ul style="list-style-type: none"> ・現時点では、大学あるいは高校生の、まさに年金加入者あるいは直前の方を中心として年金セミナーを行っています。対象を広げていく必要があると考えておりますが、現時点ではターゲットのところを中心に考えております。5年ほど前に、中学校を中心に年金セミナーのアプローチを行い、数校快く了承いただきました。しかし、教育委員会の方にその話が上がり、義務教育ということで、年金セミナーの中止となりました。それ以降は中学校へのアプローチができていません。教育委員会の方の問題が解決できるようであれば、対象を広げていく方向で進めていきたいと思っております。
	令和6年2月25日 開催の調整会議			
110	高橋委員	<ul style="list-style-type: none"> ・地域年金展開事業について、当初国民年金の納付率が60パーセントを切っていたということで、厚生年金より国民年金事業をメインに展開してきたと思いますが、現在80パーセントになったということで、国民年金の事業計画だけでなく、厚生年金、適用拡大もあることから事業所への説明会等も必要ではないかと思っております。また、年金相談の中の取り組みで、地域相談事業の中に民生委員という形があるのですが、民生委員は年数回、研修会を行っていると思っておりますので、そちらの方に依頼を行えば効率がいいと思っております。 	<input checked="" type="checkbox"/> 今回報告案件 <input type="checkbox"/> 継続対応中 <input type="checkbox"/> 報告済	<ul style="list-style-type: none"> ・過去に数回、民生委員研修会の場に講師を派遣させていただいたことがありますが、それ以降止まっている状況です。改めて協議しまして、可能であれば商工会を通じて、その研修会に参加させていただくよう進めていきます。事業所向けの説明会につきましては、コロナの関係で止まっておりますが、協議のうえ、引き続き効率的にアプローチしていきたいと思っております。また、令和6年6月に労働局と合同で算定基礎説明会を予定していますが、これ以外も含めて積極的に進めていきたいと思っております。
	令和6年2月25日 開催の調整会議			

※本書は回答を終えた案件も削除することなく追記を行います。

令和6年度 徳島県地域年金事業運営調整会議資料

資料6：地域年金展開事業の概要

資料7：令和6年度 徳島県 地域年金展開事業 実施状況

（資料7-1 地域連携事業）

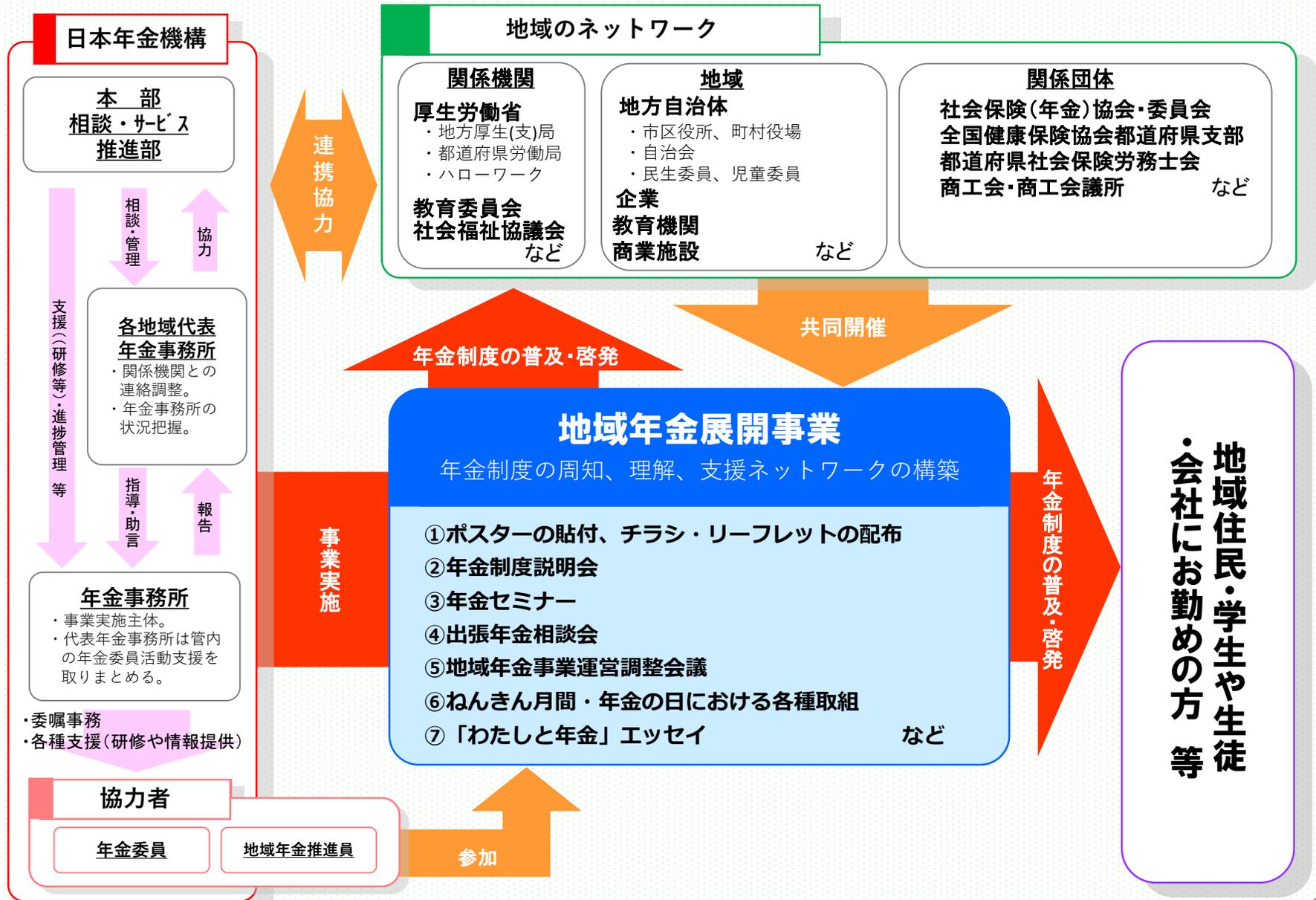
（資料7-2 年金セミナー事業）

（資料7-3 地域相談事業）

（資料7-4 年金委員活動支援事業）

日本年金機構
徳島北年金事務所
（徳島県代表年金事務所）

● 地域年金展開事業の概要 (1/2)



● 地域年金展開事業の概要（2/2）

地域年金展開事業の主な取組

- ◆ 公的年金制度の普及・啓発や国民年金保険料収納の向上等のため、関係機関との連携協力のもと『年金制度説明会』や『年金セミナー』、『出張年金相談』等を実施します。
- ◆ 日本年金機構が取り組む公的年金制度の普及・啓発活動について、都道府県ごとに関係者や有識者からなる『地域年金事業運営調整会議』を開催し、事業推進の意見や助言を伺います。

《取組内容》

地域連携事業

- ・ 職員が自治体や民間企業、関係団体等に出向き、事務担当者や従業員向けの年金制度説明会を実施。
- ・ 市区役所・町村役場の広報誌や行事等を通じ、年金制度や日本年金機構が行う事業の周知、ポスター・チラシの掲示や設置、配付の依頼等。

年金セミナー事業

職員が大学や専門学校、高等学校等に出向き、学生・生徒向けの年金セミナーを実施。大学での年金相談や学生納付特例制度の申請窓口の開設や、パンフレットの掲示や設置、配付の依頼等。

地域相談事業

年金事務所から遠方の地域住民や利便性などのニーズに応えるため、市区役所・町村役場や大規模商業施設、イベント会場等で、出張年金相談や免除申請窓口を開設。

年金委員活動支援事業

年金委員を対象とした研修会の開催や、各種冊子・チラシ等、活動に役立つ情報を提供。

地域年金事業運営調整会議

公的年金制度の普及・啓発等についての検討や年金事務所が実施する事業への意見・助言を行うため、学識経験者や関係機関等を委員として都道府県単位に設置。

■ 基本方針

- 公的年金制度は、「世代と世代の支え合い」と言われるように、広く世代・年齢、地域・職域を超えた社会連帯の下に成立しており、これはいかなる制度設計の下でも普遍的なものである。
- 公的年金制度の運営にあたる日本年金機構にとっては、地域、教育、企業の中での年金制度の周知、理解、支援のネットワークの再生・再構築が喫緊の課題であり、年金制度に対する理解をより深め、制度加入や保険料納付に結びつけるため、地域に根ざした「地域における年金運営の展開に関する事業」（呼称：「地域年金展開事業」）を実施している。
- 地域年金展開事業は、国民年金及び厚生年金の適用や収納、給付、年金相談といった基幹業務における基盤となる事業であることから、関係機関（団体）の協力を得て、地域に根ざした公的年金制度の啓発・普及を目的とした事業を推進する。

■ 令和6年度の取組

1. 地域年金事業運営調整会議

- 地域年金展開事業の事業計画の策定・推進に関することについて
年金事務所で策定した地域年金展開事業（地域連携事業・年金セミナー事業・地域相談事業・年金委員活動支援事業）の事業計画について、取組方針や取組実績などの報告を行い、各委員から効果的かつ効率的な事業運営のための意見を聴取する。
- 地域年金展開事業を充実させるための方策について
地域年金展開事業を充実させるため、各委員との意見交換を行う。

開催時期	主な議事案件
令和6年8月	・令和5年度事業計画の結果報告 他

2. 地域連携事業

- 地域の関係機関（団体）と協力・連携し、年金制度の普及・啓発、国民年金保険料収納の向上を図る。

《具体的な取組事項》

- 地域における年金制度の周知を行うために、各組織における事務担当者や従業員・所属員・加入員への年金制度説明会の開催
- 年金制度に関するチラシ・ポスター等を配付し、各組織の掲示板への掲示や従業員への配付及び回覧の依頼
- 地域型年金委員及び職域型年金委員を活用し、自治会・町内会及び事業所において、年金制度に関するチラシ・パンフレット等の配付及び説明周知活動の実施
- 市区町村担当職員向け情報誌「かけはし」の配付

3. 年金セミナー事業

- 日本年金機構職員が、大学、短大、専門学校、高等学校（夜間学校含む）等に出向き、年金セミナーの実施や「わたしと年金」エッセイの募集を依頼（原則、対面での開催の実施を基本とするが、教育機関等からWeb 会議サービス等を使用した非対面による実施要請があった場合は、非対面での開催を実施）する。なお、相手先機関から動画によるセミナーの要請があった場合には、動画提供型も積極的に活用する。

《具体的な取組事項》

- 大学・高等学校等での年金セミナー実施
- 都道府県教育委員会や県高等学校長会に対し、高等学校での年金セミナー実施やエッセイ募集に関する事務連絡の発出依頼を行うなど協力の呼び掛け
- 大学に対して、チラシ・パンフレットの設置、各大学ホームページへの年金啓発資料の掲載等を依頼

4. 地域相談事業

- 市区役所・町村役場、民生委員、自治会、大学、事業所、ハローワーク等で、年金制度説明会や出張年金相談（学特申請窓口、免除申請窓口含む）を実施し、住民の皆様などに年金をより身近に感じていただき、年金制度の理解を深める。

《具体的な取組事項》

- 市町村等への年金制度説明会
- 事業所への年金制度説明会
- 20歳到達者の年金相談・制度説明会

5. 年金委員（地域型、職域型）活動支援事業

- 年金委員への活動支援（研修の充実、積極的な情報提供）や定期的な意見交換会を実施する。
- 健康保険委員との連携強化を図り、医療・年金に係る委員活動が一体的に行えるよう取組む。

《具体的な取組事項》

- 年金委員への重点的な活動内容等の周知、協力依頼
- 年金委員に対する情報提供（職域型「ハナミズキ通信」四半期毎、地域型「みつばち通信」毎月）
- 年金委員研修の実施
- 年金委員との意見交換会（地域型年金委員連絡会及び地区連絡会の開催）
- 年金委員の委嘱促進

■ 実施スケジュール

年 月	地域連携事業	年金セミナー事業	地域相談事業	年金委員活動支援事業
令和6年4月	<ul style="list-style-type: none"> ●市町村・ハローワーク・教育委員会・社会福祉協議会・社会保険労務士会等との連携強化を図り、チラシ・パンフレット設置による周知・啓発（毎月） ●新規適用事業所説明会（随時） ●20歳到達者年金相談・制度説明会の一部開催（毎月） 		<ul style="list-style-type: none"> ●ハローワークの雇用保険受給者説明会での周知（毎月） ●出張年金相談の実施（毎月、一部11月） 	<ul style="list-style-type: none"> ●職域型年金委員に対する情報誌「ハナミズキ通信」送付（四半期） ●地域型年金委員に対する情報誌「みつばち通信」送付（毎月） ●年金委員委嘱促進（随時）
令和6年5月	<ul style="list-style-type: none"> ●市町村担当者向け情報誌「かけはし」の送付 	<p>【代表年金事務所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●大学・高等学校等への年金セミナー開催依頼とアンケートの実施 		<ul style="list-style-type: none"> ●年金委員研修開催（随時）
令和6年6月	<ul style="list-style-type: none"> ●事業所向け年金制度・算定基礎説明会 	<ul style="list-style-type: none"> ●関係機関に「わたしと年金」エッセイ募集ポスター・チラシの配付 		
令和6年7月 〔地域年金事業運営調整会議〕	<ul style="list-style-type: none"> ●市町村担当者向け情報誌「かけはし」の送付 ●市町村説明会 			<ul style="list-style-type: none"> ●職域型年金委員に対する情報誌「ハナミズキ通信」送付（四半期）

■ 実施スケジュール

年 月	地域連携事業	年金セミナー事業	地域相談事業	年金委員活動支援事業
令和6年8月				●地域型年金委員連絡会及び地区連絡会の開催
令和6年9月	●市町村担当者向け情報誌「かけはし」の送付	●大学・高等学校等での年金セミナー実施		
令和6年10月		●大学・高等学校等での年金セミナー実施		●職域型年金委員に対する情報誌「ハナミズキ通信」送付 (四半期)
令和6年11月 〔ねんきん月間〕	●市町村担当者向け情報誌「かけはし」の送付	●大学・高等学校等での年金セミナー実施	●出張年金相談（阿波半田）	●年金委員表彰式 ●年金委員研修の実施 ●県下合同年金委員研修の実施 ●四国ブロック社会保険委員会連合会連絡協議会の開催

■ 実施スケジュール

年 月	地域連携事業	年金セミナー事業	地域相談事業	年金委員活動支援事業
令和6年12月		●大学・高等学校等での年金セミナー実施		●地域型年金委員連絡会及び地区連絡会の開催
令和7年1月	●市町村担当者向け情報誌「かけはし」の送付	●大学・高等学校等での年金セミナー実施		●職域型年金委員に対する情報誌「ハナミズキ通信」送付（ 四半期 ）
令和7年2月	●市町村説明会	●大学・高等学校等での年金セミナー実施		●徳島北年金委員研修の実施 ●徳島南年金委員研修の実施 ●阿波半田年金委員研修の実施
令和7年3月	●市町村担当者向け情報誌「かけはし」の送付			

令和6年度 徳島県 地域年金展開事業実施状況

資料7-1 (地域連携事業)

事業名		月別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月 (ねんきん月間)	12月	1月	2月	3月	合計		
企業や関係団体等における年金制度説明会の実施	市町村説明会	徳島北															0回 0名	
		徳島南		1回 4名														1回 4名
		阿波半田		1回 4名														1回 4名
	新適説明会	徳島北		17名														17名
		徳島南																0名
		阿波半田																0名
	制度算定基礎説明会	徳島北																0回 0名
		徳島南																0回 0名
		阿波半田																0回 0名
ハローワーク窓口での年金制度の周知啓発	徳島北	DVD配付、上映依頼															—	
	徳島南	DVD配付、上映依頼															—	
	阿波半田	DVD配付、上映依頼															—	
市町村広報誌での年金制度の周知啓発(掲載回数)	徳島北	4市2町 6回	3市2町 5回														11回	
	徳島南	2市5町 7回	2市6町1村 9回														16回	
	阿波半田	2市2町 4回	2市2町 4回														8回	
20歳到達者年金制度説明会	徳島北	前年度効果が少なかったため中止															—	
	徳島南	前年度効果が少なかったため中止															—	
	阿波半田	前年度効果が少なかったため中止															—	
市町村担当職員向け情報誌『かけはし』の発行	徳島北		○														1回	
	徳島南		○														1回	
	阿波半田		○														1回	

■ 令和6年度 徳島県 地域年金展開事業実施状況

資料7-2 (年金セミナー事業)

事業名		月別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月 (ねんきん月間)	12月	1月	2月	3月	合計			
		対面又は オンライン	徳島北	徳島南	阿波半田	徳島北	徳島南	阿波半田											
年金セミナーの実施	対面又は オンライン	徳島北															0回	0名	
		徳島南																0回	0名
		阿波半田																0回	0名
	DVD動画 視聴	徳島北																0回	0名
		徳島南																0回	0名
		阿波半田																0回	0名
エッセイ募集に関する 協力依頼	徳島北		マスコミへの プレスリリース														マスコミ： 1回		
	徳島南																		
	阿波半田																		

■ 令和6年度 徳島県 地域年金展開事業実施状況

資料7-3 (地域相談事業)

事業名		月別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月 (ねんきん月間)	12月	1月	2月	3月	合計		
		徳島北	徳島南	阿波半田														
ハローワークの雇用 保険受給者説明会での 年金制度説明会の 実施 (会場数・参加人数)	徳島北	R5.4～ ハローワーク 雇用保険受給者説明会 規模縮小のため中止															—	
	徳島南	R5.5～ ハローワーク 雇用保険受給者説明会 規模縮小のため中止																—
	阿波半田	R5.6～ ハローワーク 雇用保険受給者説明会 規模縮小のため中止																—
出張年金相談の実施	徳島北 (社労士)	鳴門市2回	8名	9名													50名	
		阿波市2回	10名	12名														
		吉野川市	5名	6名														
	徳島南	牟岐町 阿南市	8名	10名													18名	
	阿波半田	美馬市 三好市 東みよし町2回															0名	

令和6年度 徳島県 地域年金展開事業実施状況

資料7-4 (年金委員活動支援事業)

事業名		月別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月 (ねんきん月間)	12月	1月	2月	3月	合計	
年金委員研修の実施 (参加人数)	研修	徳島北	1回 10名	1回 17名												2回 27名	
		徳島南	1回 7名													1回 7名	
		阿波半田	1回 12名													1回 12名	
	年金委員表彰 (被表彰者数)	表彰	徳島北														0回 0名
			徳島南														0回 0名
			阿波半田														0回 0名
職域型年金委員 (ハナミズキ通信等) 地域型年金委員 (みつばち通信等) へ情報誌等の提供	職域型	徳島北	○ハナミズキ通信													1回	
		徳島南	○ハナミズキ通信													1回	
		阿波半田	○ハナミズキ通信													1回	
	地域型	徳島北	○みつばち通信	○みつばち通信													2回
		徳島南	○みつばち通信	○みつばち通信													2回
		阿波半田	○みつばち通信	○みつばち通信													2回
四国ブロック社会保 険委員会連合会連絡 協議会 (令和6年度：徳島県)	徳島北															0名	
	徳島南															0名	
	阿波半田															0名	
地域型年金委員連絡 会(県)及び地区連 絡会	県連絡会	徳島北														0名	
	地区 連絡会	徳島北														0名	
		徳島南														0名	
		阿波半田														0名	